

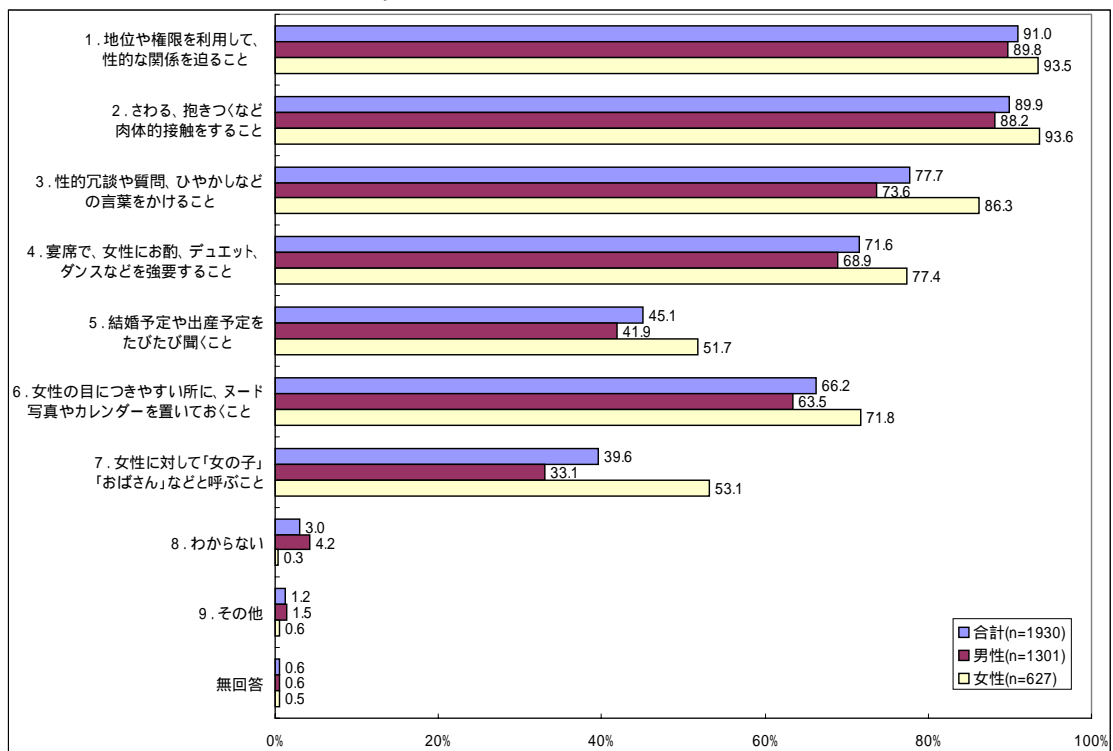
3 人権について

(12) セクシュアル・ハラスメントだと思うこと

問12 セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)が最近問題になっていますが、あなたが、セクシュアル・ハラスメントだと思うものはどれですか。(いくつでも選択可)

「地位や権限を利用して、性的な関係を迫ること」、
「さわる、抱きつくなど肉体的接触をすること」が9割前後と高い

セクシュアル・ハラスメントだと思うこと



(全体・性別)

【全体】

「地位や権限を利用して、性的な関係を迫ること」が91.0%、「さわる、抱きつくなど肉体的接触をすること」が89.9%と高く、「性的冗談や質問、ひやかしの言葉をかけること」が77.7%で続いている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、「その他」以外のすべての行為について、セクシュアル・ハラスメントであるという認識が市民に比べより高い。

【性別】

女性で「性的冗談や質問、ひやかしの言葉をかけること」が86.3%、「宴席で、女性にお酌、デュエット、ダンスなどを強要すること」が77.4%、「結婚予定や出産予定をたびたび聞くこと」が51.7%、「女性の目につきやすい所に、ヌード写真やカレンダーを置いておくこと」が71.8%、「女性に対して『女の子』『おばさん』などと呼ぶこと」が53.1%とそれぞれ男性に比べ高い。

なお、市民意識調査結果と比較すると、男性、女性ともに「その他」以外のすべての行為について、セクシュアル・ハラスメントであるという認識が市民に比べより高い。

セクシュアル・ハラスメントだと思うこと

(%)

	n	1 地位や権限を利用して、性的 な関係を迫ること	2 さわる、抱きつくなど肉体的 接触をすること	3 性的冗談や質問、ひやかしな どの言葉をかけること	4 宴席で、女性にお酌、デュエ ット、ダンスなどを強要する こと	5 結婚予定や出産予定をたび たび聞くこと	6 女性の目につきやすい所に、 ヌード写真やカレンダーを 置いておくこと	7 女性に対して「女の子」「おば さん」などと呼ぶこと	8 わからない
合計	1930	91.0	89.9	77.7	71.6	45.1	66.2	39.6	3.0
(19歳以下)	(6)	(83.3)	(100.0)	(66.7)	(33.3)	(0.0)	(33.3)	(0.0)	(0.0)
20～29歳	329	92.7	93.9	78.1	71.4	47.1	65.7	33.1	1.8
30～39歳	608	90.5	90.5	73.2	69.9	41.9	63.0	34.7	4.4
40～49歳	502	93.6	90.4	82.3	77.9	48.8	71.1	45.2	2.2
50歳以上	483	87.8	86.1	78.7	67.9	44.3	65.8	44.9	2.7

	n	9 その他	無回答
合計	1930	1.2	0.6
(19歳以下)	(6)	(0.0)	(0.0)
20～29歳	329	0.9	0.0
30～39歳	608	1.8	0.3
40～49歳	502	1.4	0.2
50歳以上	483	0.6	1.7

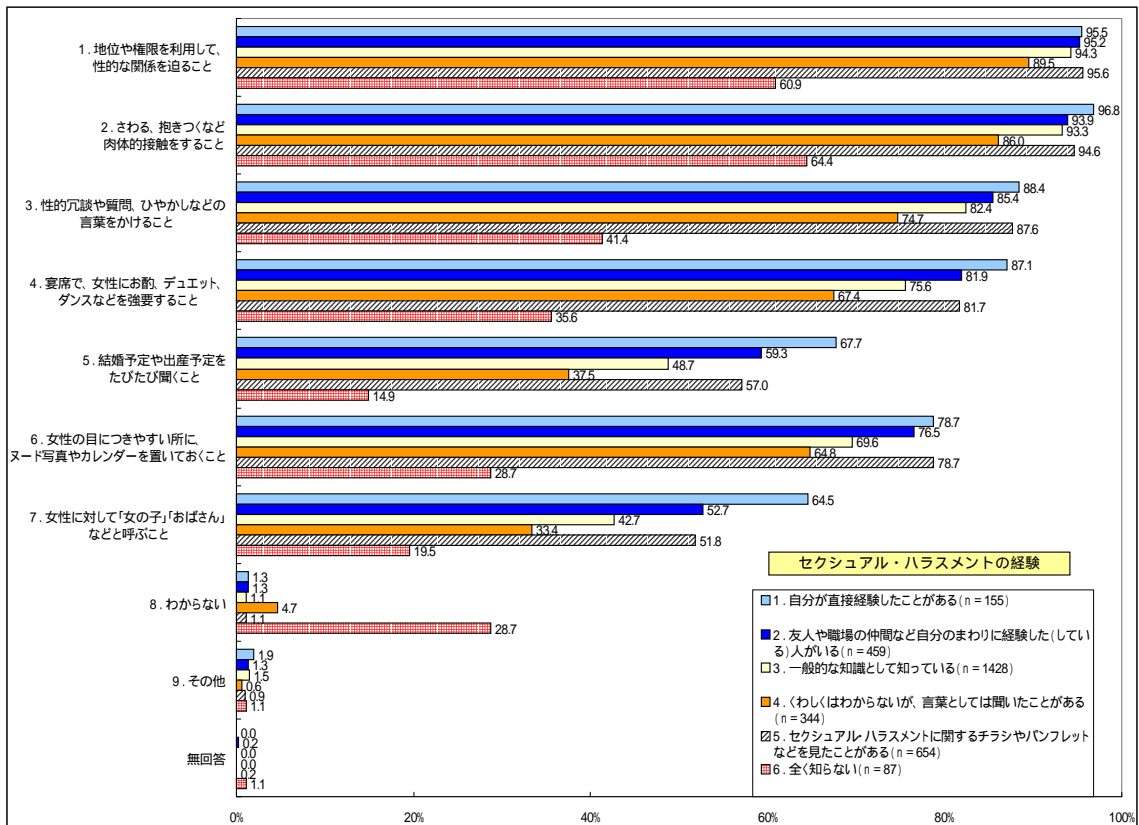
(全体・年齢別)

【年齢別】

40～49歳で「宴席で、女性にお酌、デュエット、ダンスなどを強要すること」が77.9%と、他の年代に比べ高い。また、40歳以上で「女性に対して『女の子』『おばさん』などと呼ぶこと」が45%前後と、他の年代に比べ高い。

参考：セクシュアル・ハラスメントの経験別にみた調査結果

<セクシュアル・ハラスメントの経験別>



「(セクシュアル・ハラスメントを)全く知らない」人で、すべての行為について、他の人に比べセクシュアル・ハラスメントであるという認識が低く、「わからない」が28.7%と特に高い。

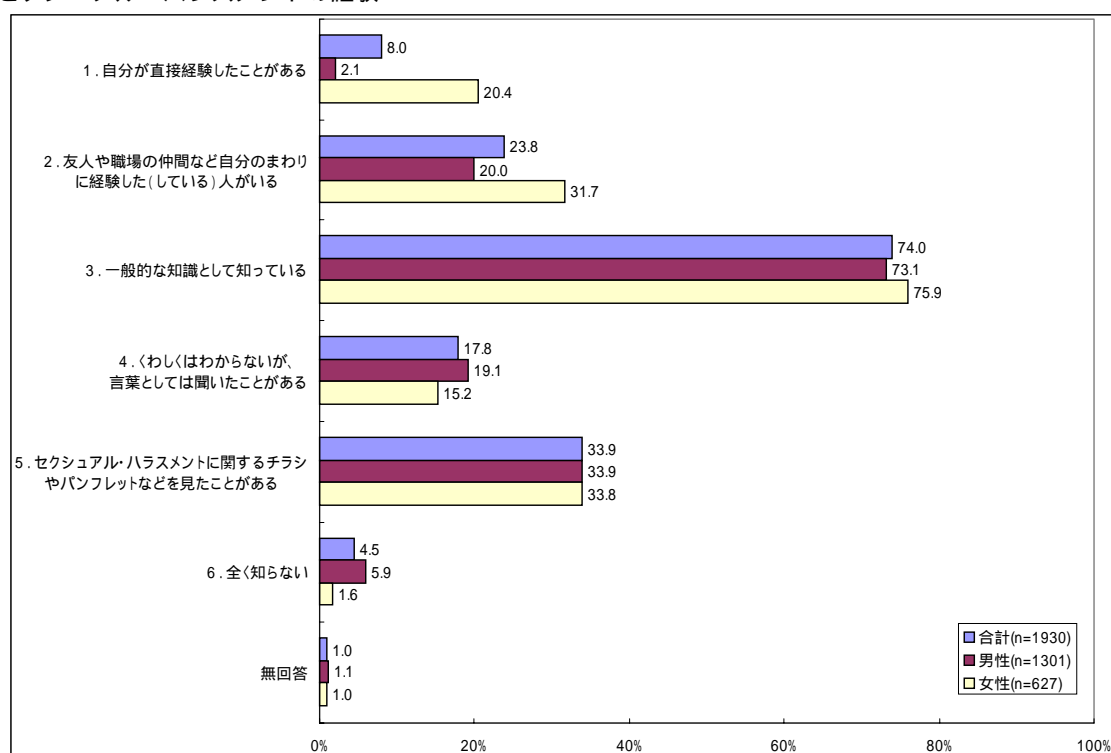
また、「自分が直接経験したことがある」人と「友人や職場の仲間など自分のまわりに経験した(している)人がいる」人と「セクシュアル・ハラスメントに関するチラシやパンフレットなどを見たことがある」人は、「一般的な知識として知っている」人と「くわしくはわからないが、言葉としては聞いたことがある」人に比べ、各行為についてセクシュアル・ハラスメントであるという認識がやや高い傾向が認められる。

(13) セクシュアル・ハラスメントの経験

問13 あなたは、セクシュアル・ハラスメントについて経験したり、見聞きしたことがありますか。(いくつでも選択可)

「自分が直接経験したことがある」全体 155 人 (8.0%)
男性 27 人 (2.1%)、女性 128 人 (20.4%)

セクシュアル・ハラスメントの経験



(全体・性別)

【全体】

「一般的な知識として知っている」が74.0%と最も高く、「セクシュアル・ハラスメントに関するチラシやパンフレットなどを見たことがある」が33.9%、「友人や職場の仲間など自分のまわりに経験した(している)人がいる」が23.8%で続いている。

「自分が直接経験したことがある」人の実数は155人、「友人や職場の仲間など自分のまわりに経験した(している)人がいる」人は459人であった。

なお、市民意識調査結果と比較すると、「友人や職場の仲間など自分のまわりに経験した(している)人がいる」、「一般的な知識として知っている」、「セクシュアル・ハラスメントに関するチラシやパンフレットなどを見たことがある」が市民に比べより高い。

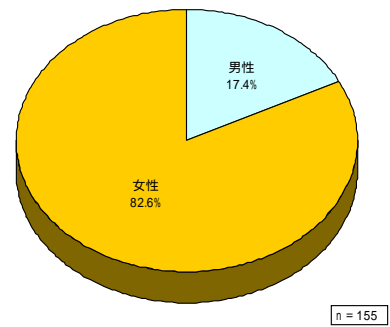
【性別】

女性で「友人や職場の仲間など自分のまわりに経験した（している）人がいる」が31.7%と、男性（20.0%）に比べ11.7ポイント高い。

「自分が直接経験したことがある」人の性別内訳をみると、女性が8割以上を占めている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、男性、女性ともに「友人や職場の仲間など自分のまわりに経験した（している）人がいる」、「セクシュアル・ハラスメントに関するチラシやパンフレットなどを見たことがある」が市民に比べより高い。また、女性では「一般的な知識として知っている」も市民と比べより高い。

「自分が直接経験したことがある」性別内訳



セクシュアル・ハラスメントの経験

(%)

	n	1 自分が直接 経験したこ とがある	2 友人や職 場の仲間 など自分 のまわり に経験し た（して いる）人 がいる	3 一般的 な知識と して知っ ている	4 くわしく はわから ないが、 言葉とし ては聞い たことが ある	5 セクシユ アル・ハ ラスメン トに関す るチラシ やパンフ レットな どを見 たことが ある	6 全く知 らない	無 回 答
合計	1930	8.0	23.8	74.0	17.8	33.9	4.5	1.0
(19歳以下)	(6)	(0.0)	(16.7)	(50.0)	(50.0)	(16.7)	(0.0)	(0.0)
20～29歳	329	9.1	26.4	75.1	11.6	25.8	5.5	0.6
30～39歳	608	10.0	26.5	70.2	16.3	25.8	5.8	0.5
40～49歳	502	6.8	23.3	75.7	17.1	37.3	3.4	1.4
50歳以上	483	6.2	19.3	76.6	24.2	46.2	3.5	1.7

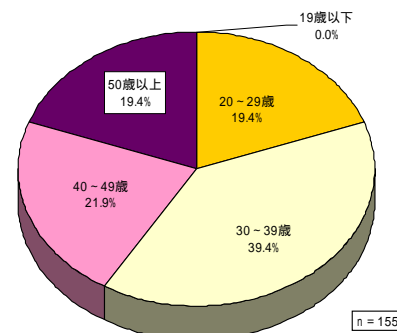
(全体・年齢別)

【年齢別】

40歳以上で「セクシュアル・ハラスメントに関するチラシやパンフレットなどを見たことがある」が35%以上と、他の年代に比べ高い。また、50歳以上で「くわしくはわからないが、言葉としては聞いたことがある」が24.2%と、他の年代に比べ高い。

「自分が直接経験したことがある」人の年齢別内訳をみると、30～39歳が最も多く、4割弱を占めている。

「自分が直接経験したことがある」年齢別内訳

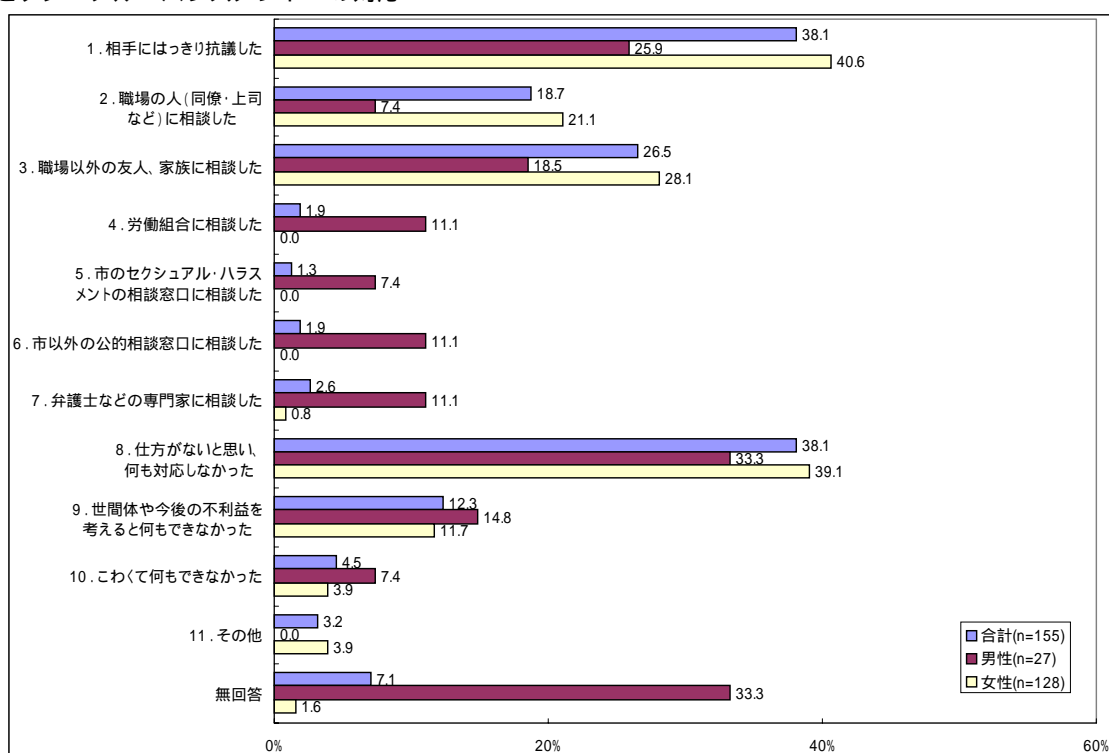


(13-1) セクシュアル・ハラスメントへの対応

問13-1 あなたがセクシュアル・ハラスメントを受けたとき、あるいはその後で、どのような対応をされましたか。(いくつでも選択可)

「相手にはっきり抗議した」と「仕方がないと思い、何も対応しなかった」が38.1%でトップ

セクシュアル・ハラスメントへの対応



(全体・性別)

【全体】

「相手にはっきり抗議した」、「仕方がないと思い、何も対応しなかった」がともに38.1%と高く、「職場以外の友人、家族に相談した」が26.5%で続いている。直接抗議をする人と全く何もしない人との二極化が認められる。

【性別】

男性のサンプル数が27と少ないため、結果を参考程度にとどめる必要があるが、男性で、労働組合、市の相談窓口や市以外の公的相談窓口、弁護士などの公的機関や専門家に相談する割合が、女性に比べ高い傾向が認められる。一方、女性では、職場の同僚や上司、友人や家族などの身近な人に相談する割合が男性に比べ高いとともに、相手にはっきり抗議した割合も男性に比べ高い傾向が認められる。

セクシュアル・ハラスメントへの対応

(%)

	n	1 相手にはっきり抗議 した	2 職場の人(同僚・上 司など)に相談した	3 職場以外の友人、家 族に相談した	4 労働組合に相談した	5 市のセクシュアル・ ハラスメントの相談 窓口相談した	6 市以外の公的相談窓 口に相談した	7 弁護士などの専門家 に相談した	8 仕方がないと思い、 何も対応しなかった
合計	155	38.1	18.7	26.5	1.9	1.3	1.9	2.6	38.1
(19歳以下)	(0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
20～29歳	30	26.7	26.7	36.7	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
30～39歳	61	34.4	21.3	24.6	3.3	3.3	3.3	3.3	39.3
40～49歳	34	47.1	11.8	23.5	0.0	0.0	0.0	0.0	35.3
50歳以上	30	46.7	13.3	23.3	3.3	0.0	3.3	6.7	26.7

	n	9 世間体や今後の不 利益を考えると何 もできなかった	10 こわくて何もでき なかった	11 その他	無 回 答
合計	155	12.3	4.5	3.2	7.1
(19歳以下)	(0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
20～29歳	30	20.0	3.3	0.0	0.0
30～39歳	61	9.8	8.2	6.6	4.9
40～49歳	34	11.8	0.0	0.0	14.7
50歳以上	30	10.0	3.3	3.3	10.0

(全体・年齢別)

【年齢別】

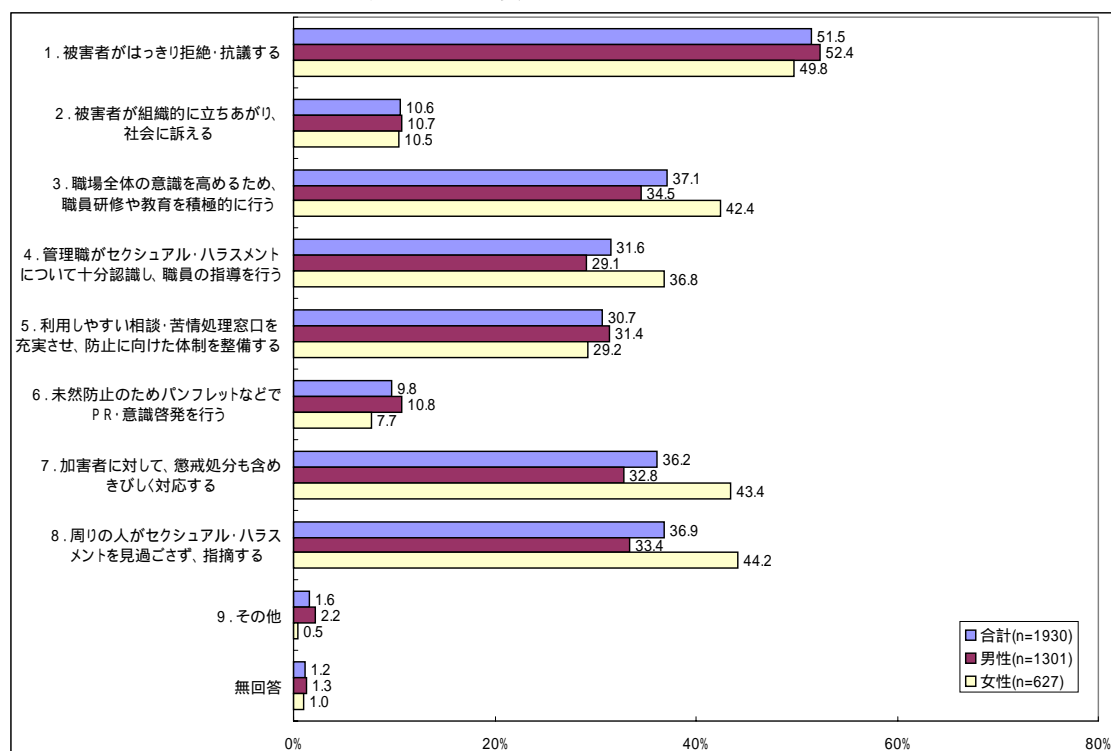
20～29歳で「職場以外の友人、家族に相談した」が36.7%、「仕方がないと思い、何も対応しなかった」が50.0%、「世間体や今後の不利益を考えると何もできなかった」が20.0%とそれぞれ他の年代に比べ高い。20～39歳で「職場の人(同僚・上司など)に相談した」が2割以上と、他の年代に比べ高い。また、40歳以上で「相手にはっきり抗議した」が45%以上と、他の年代に比べ高い。

(14) セクシュアル・ハラスメントをなくすために重要なこと

問14 あなたは、セクシュアル・ハラスメントをなくすためには、どのようなことが重要だと思いますか。(3つまで選択可)

「被害者がはっきり拒絶・抗議する」が51.5%でトップ

セクシュアル・ハラスメントをなくすために重要なこと



(全体・性別)

【全体】

「被害者がはっきり拒絶・抗議する」が51.5%と最も高く、「職場全体の意識を高めるため、職員研修や教育を積極的に行う」が37.1%、「周りの人がセクシュアル・ハラスメントを見過ごさず、指摘する」が36.9%で続いている。

【性別】

女性で「職場全体の意識を高めるため、職員研修や教育を積極的に行う」が42.4%、「管理職がセクシュアル・ハラスメントについて十分認識し、職員の指導を行う」が36.8%、「加害者に対して、懲戒処分も含めきびしく対応する」が43.4%、「周りの人がセクシュアル・ハラスメントを見過ごさず、指摘する」が44.2%とそれぞれ男性に比べ高い。

セクシュアル・ハラスメントをなくすために重要なこと

(%)

	n	1 被害者がはっきり拒絶・抗議する	2 被害者が組織的に立ちあがり、社会に訴える	3 職場全体の意識を高めるため、職員研修や教育を積極的に行う	4 管理職がセクシュアル・ハラスメントについて十分認識し、職員の指導を行う	5 利用しやすい相談・苦情処理窓口を充実させ、防止に向けた体制を整備する	6 未然防止のためパンフレットなどでPR・意識啓発を行う	7 加害者に対して、懲戒処分も含めきびしく対応する	8 周りの人がセクシュアル・ハラスメントを見過さず、指摘する
合計	1930	51.5	10.6	37.1	31.6	30.7	9.8	36.2	36.9
(19歳以下)	(6)	(33.3)	(0.0)	(33.3)	(0.0)	(50.0)	(16.7)	(33.3)	(83.3)
20～29歳	329	50.5	15.2	27.4	32.5	35.0	7.9	44.7	41.3
30～39歳	608	47.7	8.4	30.6	33.2	28.8	9.2	38.5	38.5
40～49歳	502	49.8	11.0	43.4	33.1	32.3	10.8	36.7	34.5
50歳以上	483	59.2	10.1	45.3	27.7	28.4	10.6	27.3	34.0

	n	9 その他	無回答
合計	1930	1.6	1.2
(19歳以下)	(6)	(0.0)	(0.0)
20～29歳	329	1.2	0.3
30～39歳	608	2.8	1.0
40～49歳	502	0.6	1.4
50歳以上	483	1.4	1.9

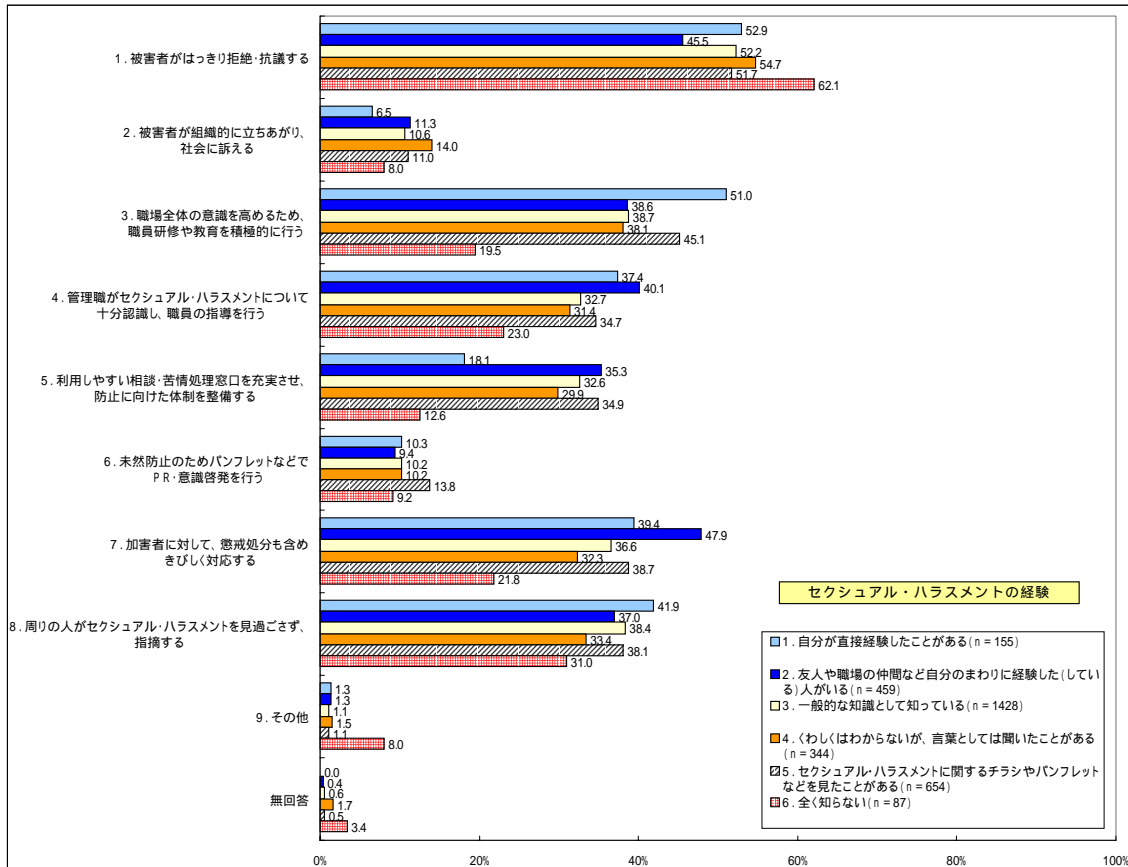
(全体・年齢別)

【年齢別】

40歳以上で「職場全体の意識を高めるため、職員研修や教育を積極的に行う」が45%前後と、他の年代に比べ高い。また、50歳以上で「被害者がはっきり拒絶・抗議する」が59.2%と、他の年代に比べ高い。「加害者に対して、懲戒処分も含めきびしく対応する」は年代がさがるほど高くなる傾向が認められる。

参考：セクシュアル・ハラスメントの経験別にみた調査結果

<セクシュアル・ハラスメントの経験別>



「自分が直接経験したことがある」人で「職場全体の意識を高めるため、職員研修や教育を積極的に行う」が51.0%、「友人や職場の仲間など自分のまわりに経験した人がいる」人で「加害者に対して、懲戒処分も含めきびしく対応する」が47.9%、「(セクシュアル・ハラスメントについて)全く知らない」人で「被害者がはっきり拒絶・抗議する」が62.1%とそれぞれ他の人に比べ高い。

4 結婚、家庭生活と男女の役割について

(15) 結婚、家庭に関する考え

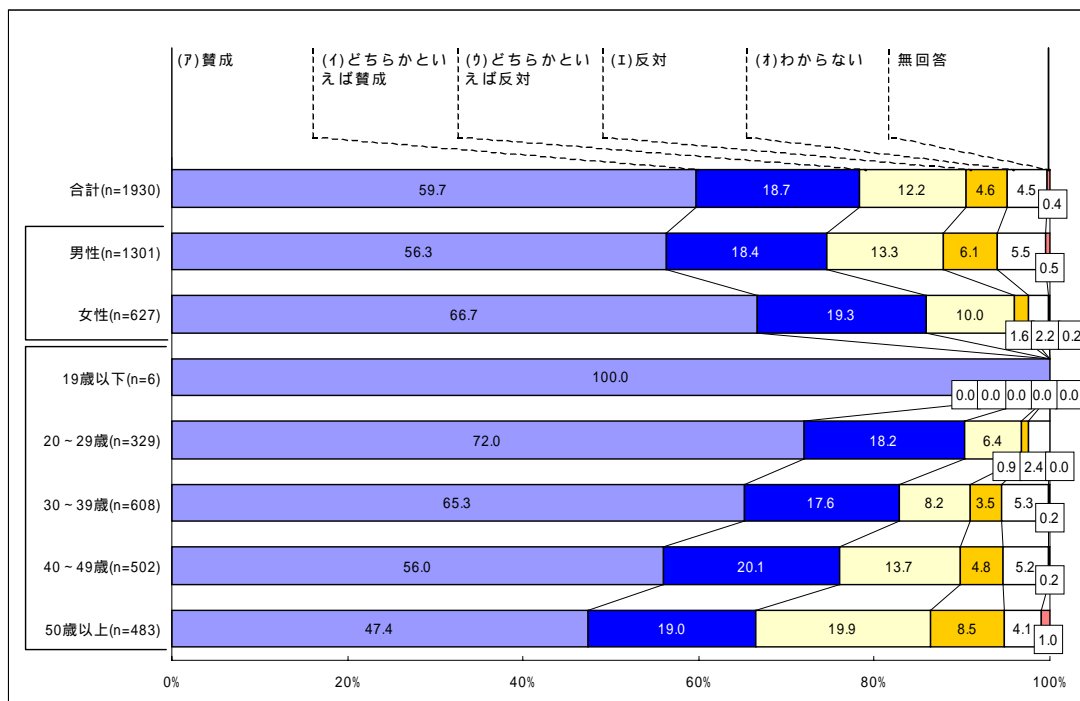
問15 あなたは、結婚、家庭に関する次のような考えについて、どのように思いますか。(1つ選択)

「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせて『賛成派』、「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせて『反対派』とする。

結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい

『賛成派』	男性 74.7%	女性 86.0%	全体 78.4%
『反対派』	男性 19.4%	女性 11.6%	全体 16.8%

「結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」についての賛否



(全体・性別・年齢別)

【全体】

「賛成」が59.7%と最も高く、「どちらかといえば賛成」が18.7%、「どちらかといえば反対」が12.2%で続いている。『賛成派』(78.4%)が、『反対派』(16.8%)を大きく上回っている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、『賛成派』が市民に比べより高く、『反対派』がより低い。

【性別】

男性で『反対派』が19.4%と、女性(11.6%)に比べ7.8ポイント高い。一方、女性では「賛成」が66.7%、『賛成派』が86.0%とそれぞれ男性に比べ高い。

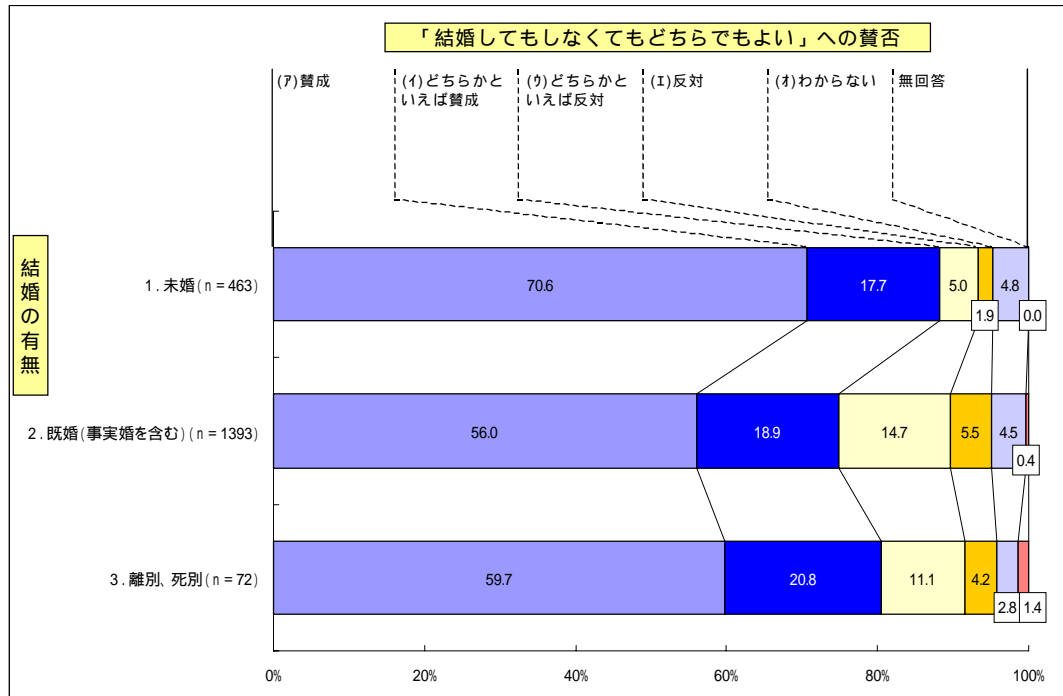
なお、市民意識調査結果と比較すると、男性、女性ともに『賛成派』が市民に比べより高く、『反対派』がより低い。

【年齢別】

「賛成」、『賛成派』は年代がさがるほど高くなる傾向が認められる。一方、『反対派』は年代があがるほど高くなる傾向が認められる。

参考：結婚の有無別にみた調査結果

< 結婚の有無別 >

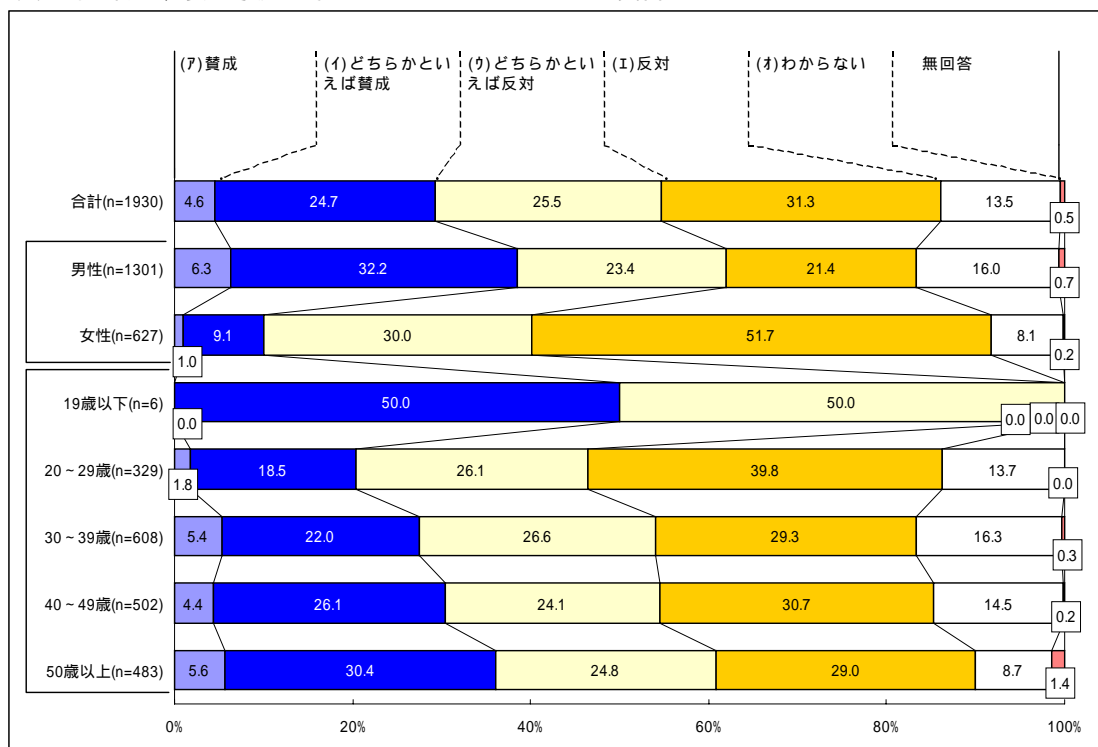


「未婚」で『賛成派』が88.3%と、結婚経験者（「既婚（事実婚を含む）」と「離別、死別」）に比べ高く、『反対派』が6.9%と、結婚経験者に比べ低い。

夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである

『賛成派』 男性 38.5% 女性 10.1% 全体 29.3%
 『反対派』 男性 44.8% 女性 81.7% 全体 56.8%

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」についての賛否



(全体・性別・年齢別)

【全体】

「反対」が31.3%、「どちらかといえば反対」が25.5%、「どちらかといえば賛成」が24.7%となっている。『反対派』（56.8%）が、『賛成派』（29.3%）を大きく上回っている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、『反対派』が市民に比べより高い。『反対派』と『賛成派』の割合が市民とは逆転している。

【性別】

男性で「どちらかといえば賛成」が32.2%、『賛成派』が38.5%とそれぞれ女性に比べ高い。一方、女性では「反対」が51.7%、「どちらかといえば反対」が30.0%、『反対派』が81.7%とそれぞれ男性に比べ高い。

なお、市民意識調査結果と比較すると、男性、女性ともに『反対派』が市民に比べより高く、『賛成派』がより低い。『反対派』と『賛成派』の割合が市民とは逆転している。

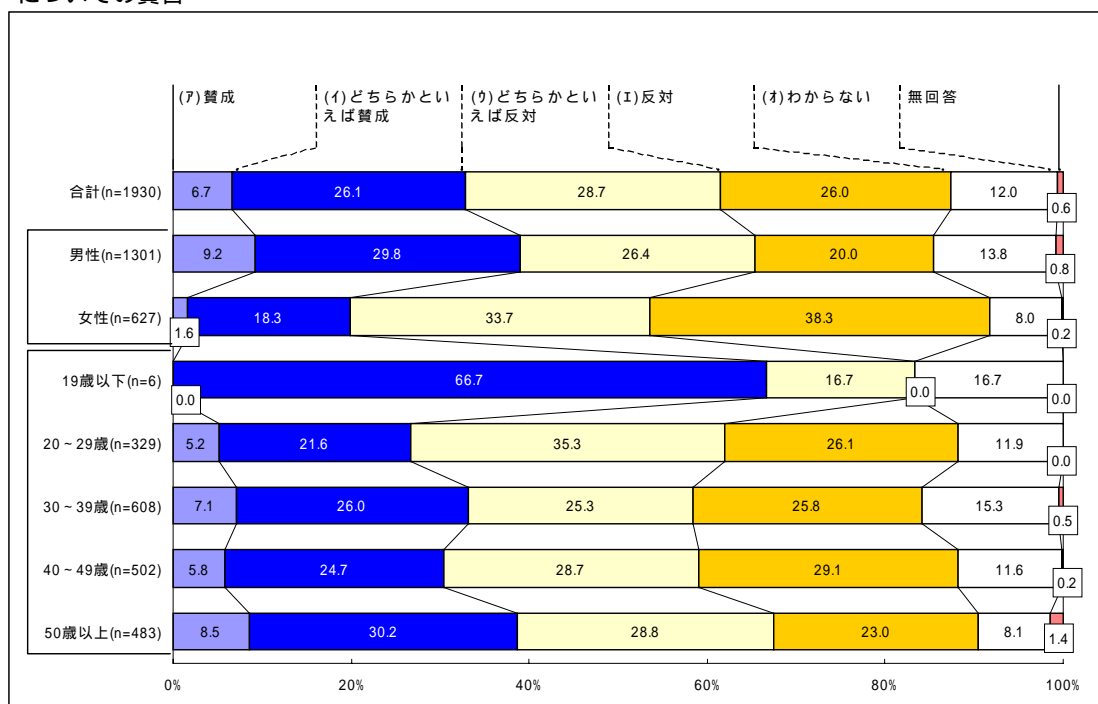
【年齢別】

20～29歳で「反対」が39.8%、『反対派』が65.9%とそれぞれ他の年代に比べ高い。

女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい

『賛成派』 男性 39.0% 女性 19.9% 全体 32.8%
『反対派』 男性 46.4% 女性 72.0% 全体 54.7%

「女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい」についての賛否



(全体・性別・年齢別)

【全体】

「どちらかといえば反対」が 28.7%、「どちらかといえば賛成」が 26.1%、「反対」が 26.0% となっている。『反対派』（54.7%）が、『賛成派』（32.8%）を大きく上回っている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、『反対派』が市民に比べより高く、『賛成派』がより低い。『反対派』と『賛成派』の割合が市民とは逆転している。

【性別】

男性で「賛成」が 9.2%、「どちらかといえば賛成」が 29.8%、『賛成派』が 39.0%とそれぞれ女性に比べ高い。一方、女性では「反対」が 38.3%、「どちらかといえば反対」が 33.7%、『反対派』が 72.0%とそれぞれ男性に比べ高い。

なお、市民意識調査結果と比較すると、男性、女性ともに『反対派』が市民に比べより高く、『賛成派』がより低い。『反対派』と『賛成派』の割合が市民とは逆転している。

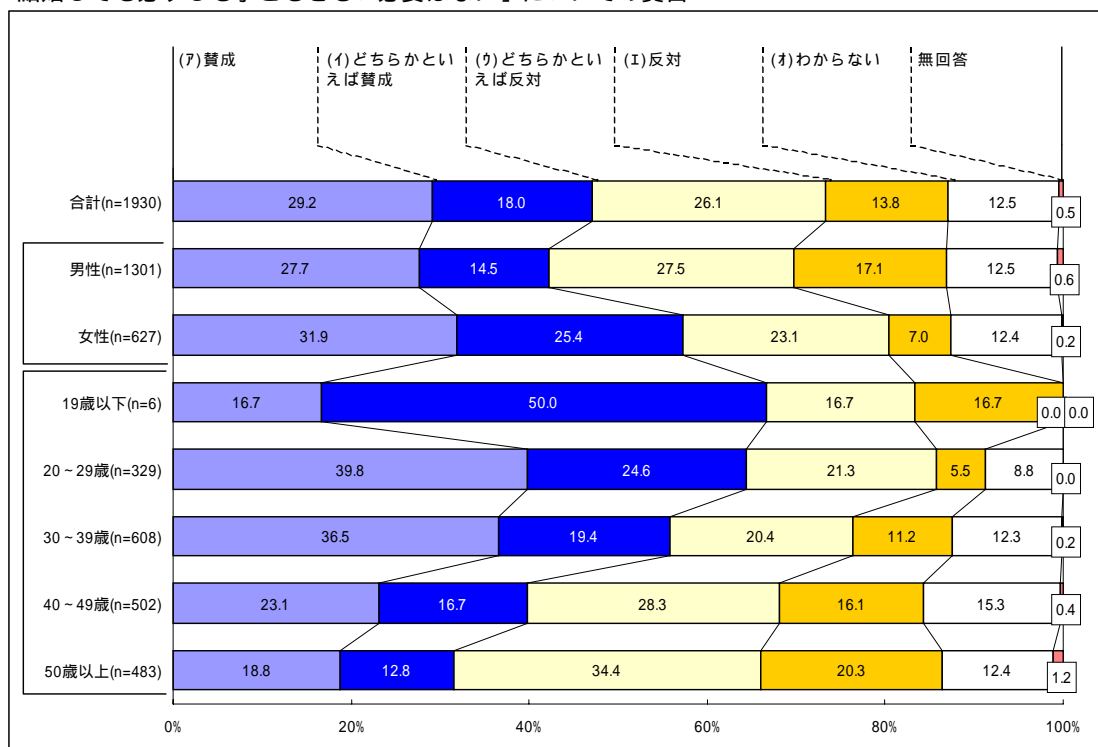
【年齢別】

20～29歳で「どちらかといえば反対」が 35.3%、20～29歳、40～49歳で『反対派』が 6割前後とそれぞれ他の年代に比べ高い。また、50歳以上で『賛成派』が 38.7%と、他の年代に比べ高い。

結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない

『賛成派』 男性 42.2% 女性 57.3% 全体 47.2%
 『反対派』 男性 44.6% 女性 30.1% 全体 39.9%

「結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない」についての賛否



(全体・性別・年齢別)

【全体】

「賛成」が29.2%、「どちらかといえば反対」が26.1%、「どちらかといえば賛成」が18.0%となっている。『賛成派』(47.2%)が『反対派』(39.9%)を上回っている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、『賛成派』が市民に比べより高く、『反対派』がより低い。『賛成派』と『反対派』の割合が市民とは逆転している。

【性別】

男性で「反対」が17.1%、『反対派』が44.6%とそれぞれ女性に比べ高い。一方、女性では「どちらかといえば賛成」が25.4%、『賛成派』が57.3%とそれぞれ男性に比べ高い。

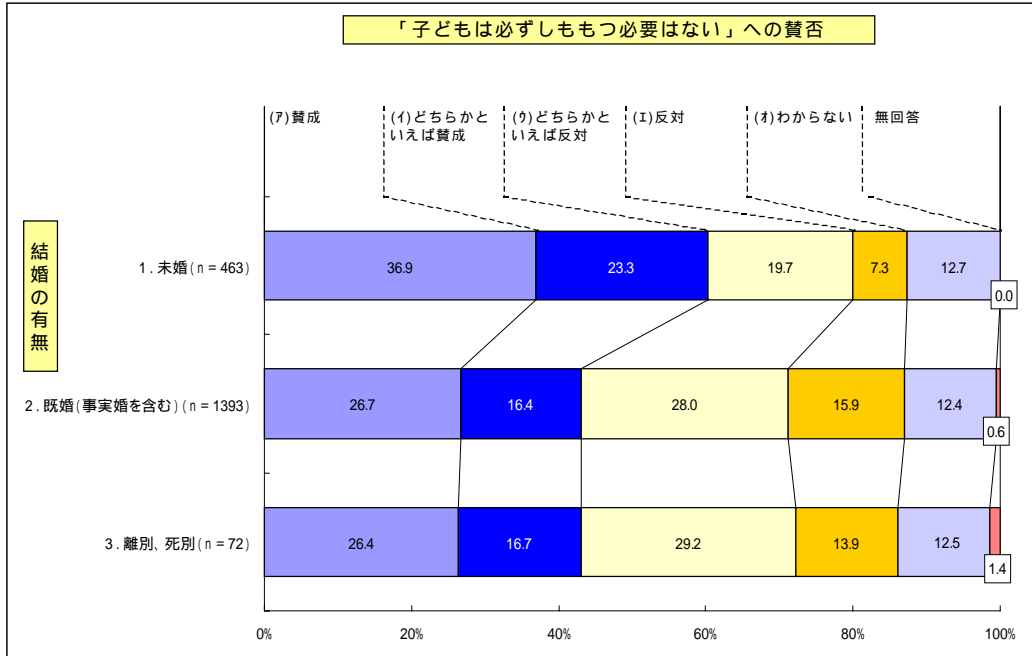
なお、市民意識調査結果と比較すると、男性、女性ともに『賛成派』が市民に比べより高く、『反対派』がより低い。女性でのみ『賛成派』と『反対派』の割合が市民とは逆転している。

【年齢別】

『賛成派』は年代がさがるほど高くなる傾向が認められる。一方、『反対派』は年代が上がるほど高くなる傾向が認められる。40歳を境に『賛成派』と『反対派』の割合が逆転している。

参考：結婚の有無別にみた調査結果

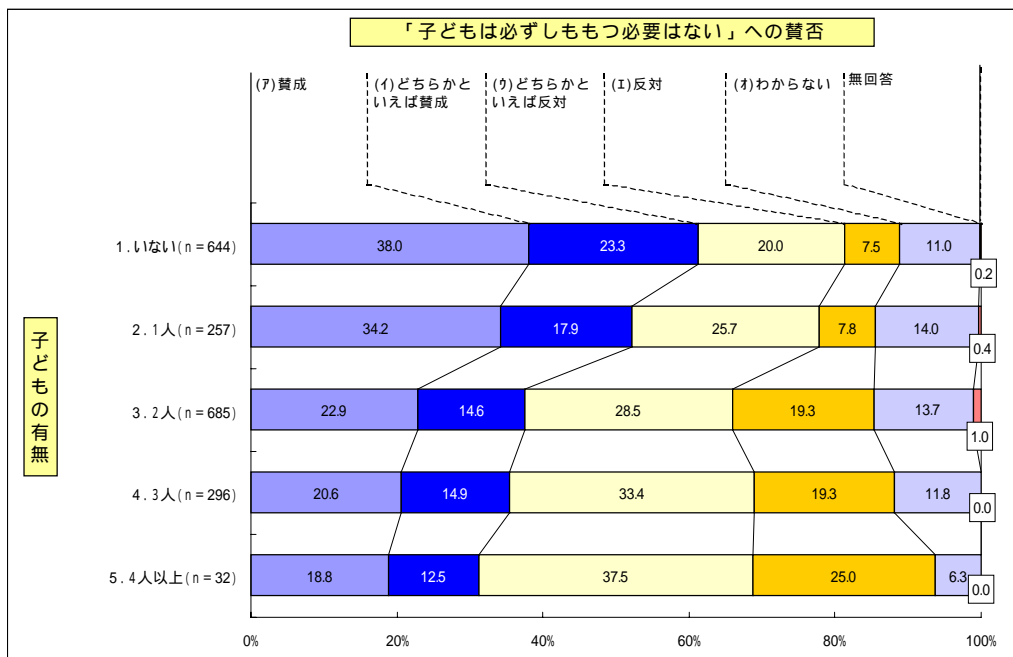
< 結婚の有無別 >



「未婚」で『賛成派』が60.2%と、結婚経験者(「既婚(事実婚を含む)」と「離別、死別」)に比べ高く、『反対派』が27.0%と、結婚経験者に比べ低い。

参考：子どもの有無別にみた調査結果

< 子どもの有無別 >

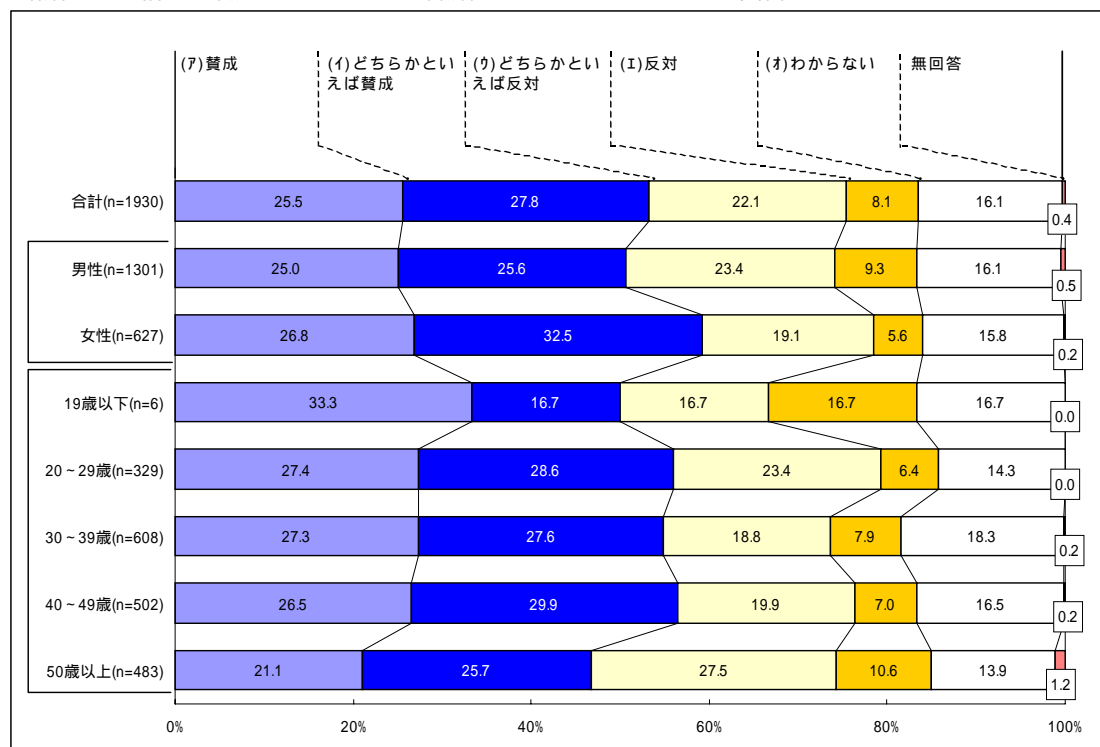


『反対派』は子どもの数が多い人ほど高く、『賛成派』は子どもの数が少ない人ほど高くなる傾向が認められる。子どもが1人以下の人は『賛成派』が『反対派』を大きく上回っており、子どもが2人以上の人では『反対派』が『賛成派』を大きく上回っている。

結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい

『賛成派』 男性 50.6% 女性 59.3% 全体 53.3%
 『反対派』 男性 32.7% 女性 24.7% 全体 30.2%

「結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい」についての賛否



(全体・性別・年齢別)

【全体】

「どちらかといえば賛成」が27.8%、「賛成」が25.5%、「どちらかといえば反対」が22.1%となっている。『賛成派』（53.3%）が、『反対派』（30.2%）を大きく上回っている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、『賛成派』が市民に比べより高く、『反対派』がより低い。『賛成派』と『反対派』の割合が市民とは逆転している。

【性別】

男性で『反対派』が32.7%と、女性（24.7%）に比べ8.0ポイント高い。一方、女性では「どちらかといえば賛成」が32.5%、『賛成派』が59.3%とそれぞれ男性に比べ高い。

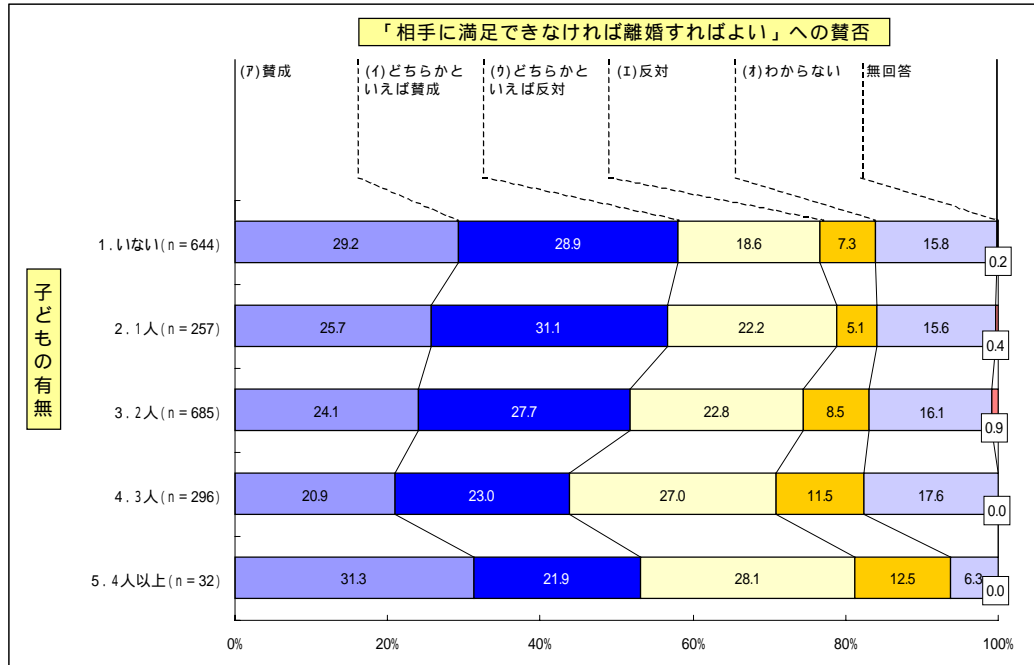
なお、市民意識調査結果と比較すると、男性、女性ともに『賛成派』が市民に比べより高く、『反対派』がより低い。『賛成派』と『反対派』の割合が市民とは逆転している。

【年齢別】

50歳以上で『反対派』が38.1%と、他の年代に比べ高く、『賛成派』が46.8%と他の年代に比べ低い。

参考：子どもの有無別にみた調査結果

<子どもの有無別>



子どもが3人以上の人で『反対派』が4割前後と、子どもが2人以下の人に比べ高い。

参考：結婚、家庭に関する考え（問 15 ～ ）についての相関関係

結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい

夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである

女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい

結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない

結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい

< と について >

(%)

の『賛成派』である人は の『反対派』である割合が高く、 の『反対派』である人は の『賛成派』である割合が高い。

n = 1930		問15			
		(ア)賛成	(イ)どちらか といえば賛成	(ロ)どちらか といえば反対	(イ)反対
問 1 5	(ア)賛成	4.6	21.4	23.7	37.3
	(イ)どちらか といえば賛成	1.9	26.9	35.3	23.3
	(ロ)どちらか といえば反対	3.4	38.6	28.8	22.9
	(イ)反対	15.7	31.5	15.7	27.0

< と について >

(%)

に賛成である人ほど の『反対派』である割合が高く、 に反対である人ほど の『賛成派』である割合が高い。

n = 1930		問15			
		(ア)賛成	(イ)どちらか といえば賛成	(ロ)どちらか といえば反対	(イ)反対
問 1 5	(ア)賛成	7.0	23.0	27.8	30.7
	(イ)どちらか といえば賛成	2.8	30.8	35.3	20.6
	(ロ)どちらか といえば反対	5.9	35.2	32.2	18.6
	(イ)反対	22.5	37.1	16.9	20.2

< と について >

(%)

に賛成である人ほど の『賛成派』である割合が高く、 に反対である人ほど の『反対派』である割合が高い。

n = 1930		問15			
		(ア)賛成	(イ)どちらか といえば賛成	(ロ)どちらか といえば反対	(イ)反対
問 1 5	(ア)賛成	44.8	18.7	16.7	7.9
	(イ)どちらか といえば賛成	7.8	32.8	38.3	9.2
	(ロ)どちらか といえば反対	3.4	5.1	60.6	28.0
	(イ)反対	4.5	1.1	16.9	75.3

< と について >

(%)

の『賛成派』である人は の『賛成派』である割合が高く、 の『反対派』である人は の『反対派』である割合が高い。

n = 1930		問15			
		(ア)賛成	(イ)どちらか といえば賛成	(ロ)どちらか といえば反対	(イ)反対
問 1 5	(ア)賛成	35.9	27.5	16.0	6.6
	(イ)どちらか といえば賛成	11.4	39.7	27.5	4.4
	(ロ)どちらか といえば反対	8.5	21.2	47.0	12.7
	(イ)反対	15.7	18.0	22.5	32.6

< と について >

(%)

に賛成である人ほど の『賛成派』である割合が高く、 に反対である人ほど の『反対派』である割合が高い。

n = 1930		問15			
		(ア)賛成	(イ)どちらか といえば賛成	(ロ)どちらか といえば反対	(イ)反対
問 1 5	(ア)賛成	58.0	19.3	11.4	8.0
	(イ)どちらか といえば賛成	9.0	53.6	23.9	6.7
	(ロ)どちらか といえば反対	2.8	23.4	50.6	16.5
	(イ)反対	1.7	10.1	23.8	58.6

結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい
 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである
 女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい
 結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない
 結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい

< と について >

(%)

の『賛成派』である人は の『反対派』である割合が高い。また、 に「反対」である人では の『賛成派』である割合が59.1%と特に高い。

n = 1930		問15			
		(7)賛成	(イ)どちらかといえは賛成	(ロ)どちらかといえは反対	(I)反対
問15	(7)賛成	43.2	3.4	19.3	30.7
	(イ)どちらかといえは賛成	21.2	15.3	35.9	19.1
	(ロ)どちらかといえは反対	22.0	27.4	31.9	9.8
	(I)反対	41.2	17.9	18.7	11.9

< と について >

(%)

の『賛成派』である人は の『反対派』である割合が高い。

n = 1930		問15			
		(7)賛成	(イ)どちらかといえは賛成	(ロ)どちらかといえは反対	(I)反対
問15	(7)賛成	36.4	18.2	19.3	18.2
	(イ)どちらかといえは賛成	20.2	28.6	31.1	9.0
	(ロ)どちらかといえは反対	21.3	35.8	25.2	7.3
	(I)反対	32.8	25.8	17.9	7.6

< と について >

(%)

の『賛成派』である人は の『反対派』である割合が高い。また、 に「反対」である人では の『賛成派』である割合が58.3%と高い。

n = 1930		問15			
		(7)賛成	(イ)どちらかといえは賛成	(ロ)どちらかといえは反対	(I)反対
問15	(7)賛成	37.7	6.2	17.7	31.5
	(イ)どちらかといえは賛成	21.1	21.1	32.4	17.1
	(ロ)どちらかといえは反対	24.0	24.4	31.6	10.8
	(I)反対	43.9	14.4	18.6	12.0

< と について >

(%)

に賛成である人ほど の『反対派』である割合が高く、 に反対である人ほど の『賛成派』である割合が高い。

n = 1930		問15			
		(7)賛成	(イ)どちらかといえは賛成	(ロ)どちらかといえは反対	(I)反対
問15	(7)賛成	31.5	14.6	22.3	21.5
	(イ)どちらかといえは賛成	21.1	29.6	31.0	7.0
	(ロ)どちらかといえは反対	20.9	35.4	23.6	8.8
	(I)反対	36.1	25.3	16.8	7.2

< と について >

(%)

に賛成である人ほど の『賛成派』である割合が高く、 に反対である人ほど の『反対派』である割合が高い。

n = 1930		問15			
		(7)賛成	(イ)どちらかといえは賛成	(ロ)どちらかといえは反対	(I)反対
問15	(7)賛成	52.4	22.6	11.0	3.0
	(イ)どちらかといえは賛成	17.5	44.8	22.4	2.6
	(ロ)どちらかといえは反対	12.7	31.0	36.8	8.5
	(I)反対	16.9	17.7	28.2	27.1

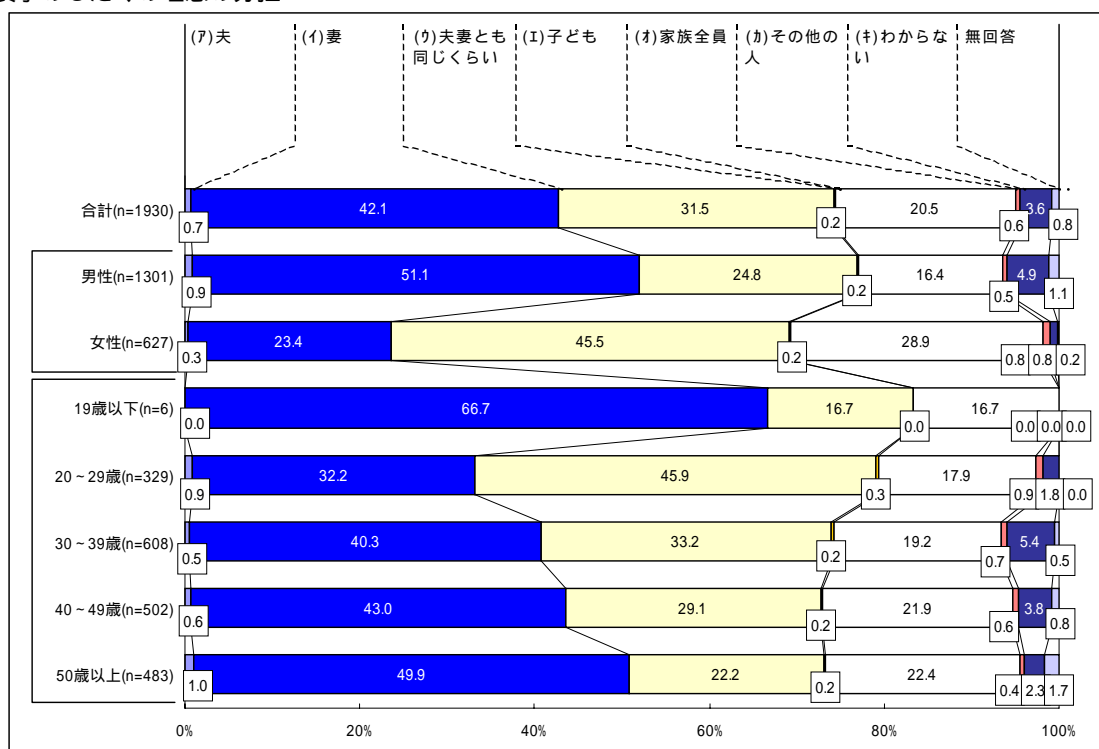
(16) 家庭内の仕事の理想の分担

問16 あなたは、次にあげるような家庭内の仕事を、主に誰が分担するのが理想だと思いますか。(1つ選択)

食事のしたく

「妻」が42.1%でトップ

食事のしたくの理想の分担



(全体・性別・年齢別)

【全体】

「妻」が42.1%と最も高く、「夫妻とも同じくらい」が31.5%、「家族全員」が20.5%で続いている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、「夫妻とも同じくらい」が市民に比べより高く、「妻」がより低い。

【性別】

男性で「妻」が51.1%と、女性(23.4%)に比べ27.7ポイント高い。一方、女性では「夫妻とも同じくらい」が45.5%、「家族全員」が28.9%とそれぞれ男性に比べ高い。

なお、市民意識調査結果と比較すると、男性、女性ともに「夫妻とも同じくらい」が市民に比べより高く、「妻」がより低い。また、女性では「家族全員」も市民に比べより高い。

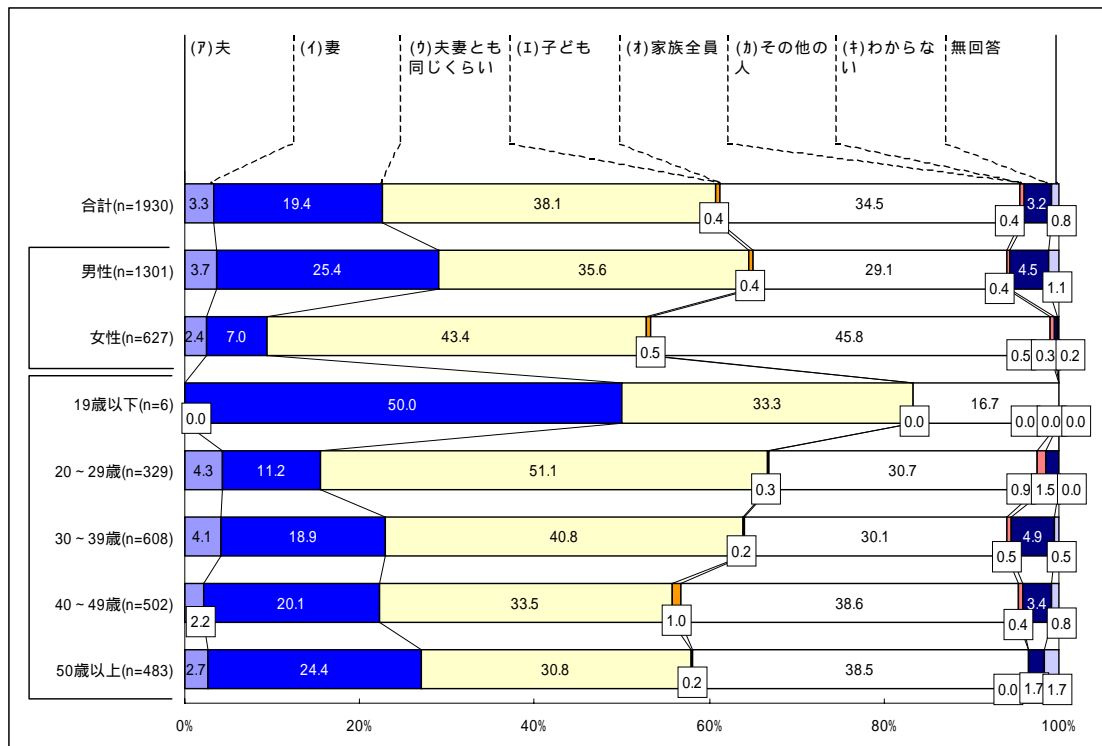
【年齢別】

20~29歳で「夫妻とも同じくらい」が45.9%と、他の年代に比べ高い。50歳以上で「妻」が49.9%と、他の年代に比べ特に高い。

食事の後かたづけ、食器洗い

「夫妻とも同じくらい」が38.1%、「家族全員」が34.5%と高い

食事の後かたづけ、食器洗いの理想の分担



(全体・性別・年齢別)

【全体】

「夫妻とも同じくらい」が38.1%、「家族全員」が34.5%と高く、「妻」が19.4%で続いている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、「夫妻とも同じくらい」が市民に比べより高く、「妻」がより低い。

【性別】

男性で「妻」が25.4%と、女性(7.0%)に比べ18.4ポイント高い。一方、女性では「夫妻とも同じくらい」が43.4%、「家族全員」が45.8%とそれぞれ男性に比べ高い。

なお、市民意識調査結果と比較すると、男性、女性ともに「妻」が市民に比べより低い。また、女性では「夫妻とも同じくらい」、「家族全員」が市民に比べより高い。

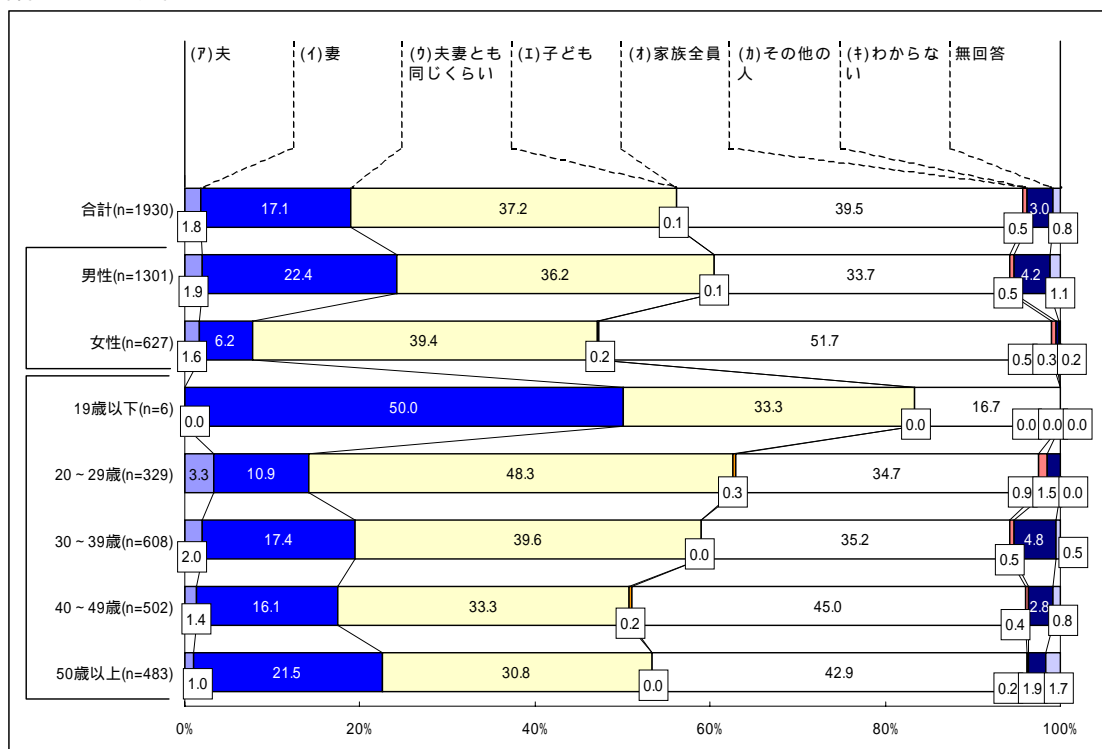
【年齢別】

40歳以上で「家族全員」が4割弱と、他の年代に比べ高い。「夫妻とも同じくらい」は年代がさがるほど高くなる傾向が認められる。

掃除

「家族全員」が39.5%、「夫妻とも同じくらい」が37.2%と高い

掃除の理想の分担



(全体・性別・年齢別)

【全体】

「家族全員」が39.5%、「夫妻とも同じくらい」が37.2%と高く、「妻」が17.1%で続いている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、「夫妻とも同じくらい」が市民に比べより高く、「妻」がより低い。

【性別】

男性で「妻」が22.4%と、女性(6.2%)に比べ16.2ポイント高い。一方、女性では「家族全員」が51.7%と、男性(33.7%)に比べ18.0ポイント高い。

なお、市民意識調査結果と比較すると、女性で「夫妻とも同じくらい」、「家族全員」が市民に比べより高く、「妻」がより低い。

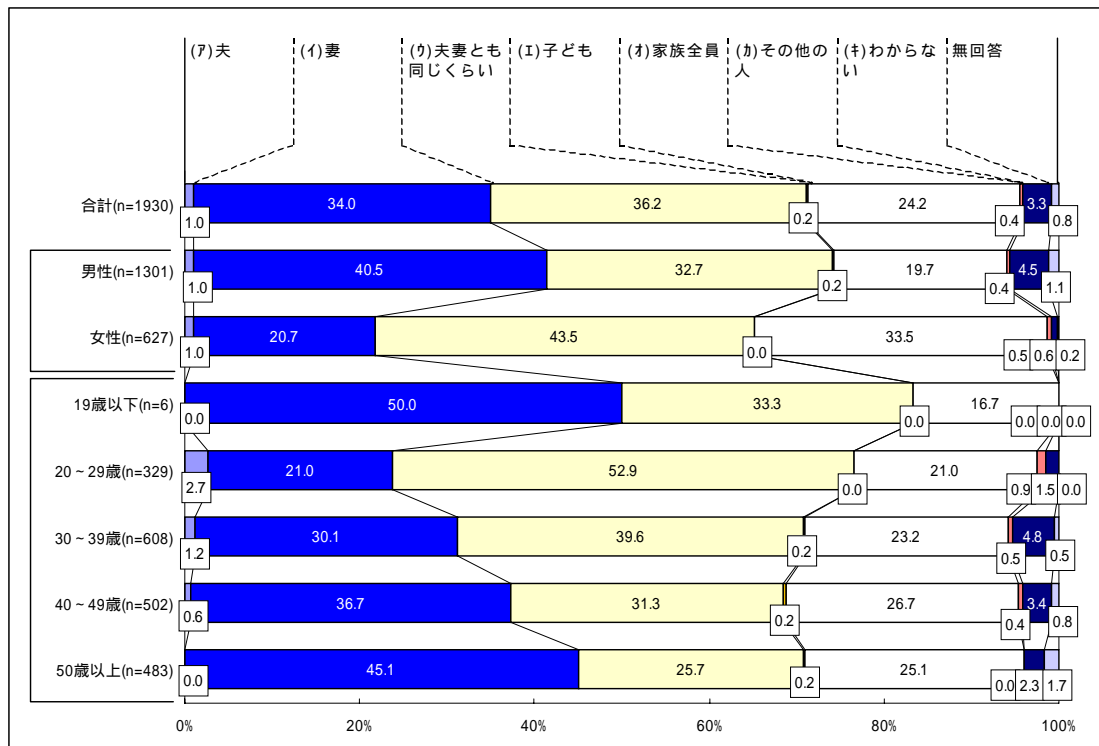
【年齢別】

40歳以上で「家族全員」が4割以上と、他の年代に比べ高い。「夫妻とも同じくらい」は年代がさがるほど高くなる傾向が認められる。

洗濯

「夫妻とも同じくらい」が36.2%、「妻」が34.0%と高い

洗濯の理想の分担



(全体・性別・年齢別)

【全体】

「夫妻とも同じくらい」が36.2%、「妻」が34.0%と高く、「家族全員」が24.2%で続いている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、「夫妻とも同じくらい」が市民に比べより高く、「妻」がより低い。

【性別】

男性で「妻」が40.5%と、女性(20.7%)に比べ19.8ポイント高い。一方、女性では「夫妻とも同じくらい」が43.5%、「家族全員」が33.5%とそれぞれ男性に比べ高い。

なお、市民意識調査結果と比較すると、男性、女性ともに「妻」が市民に比べより低く、「夫妻とも同じくらい」がより高い。また、女性では「家族全員」も市民に比べより高い。

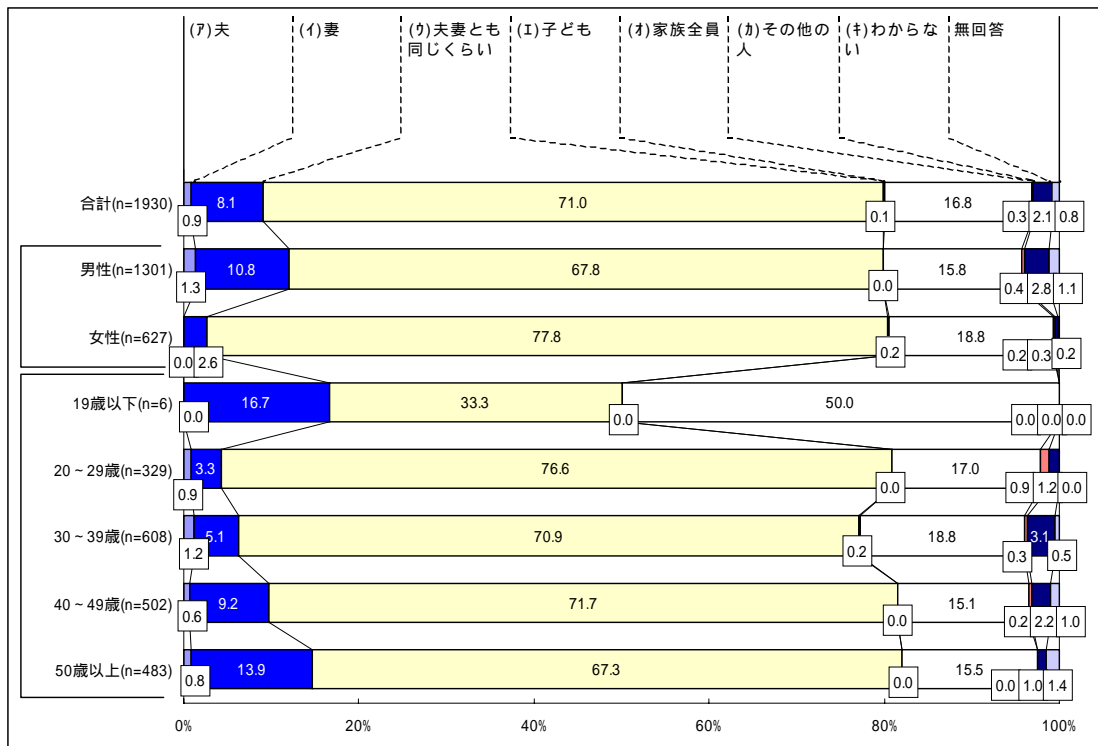
【年齢別】

「妻」は年代があがるほど高くなる傾向が認められる。一方、「夫妻とも同じくらい」は年代がさがるほど高くなる傾向が認められる。

育児・しつけ

「夫妻とも同じくらい」が71.0%でトップ

育児・しつけの理想の分担



(全体・性別・年齢別)

【全体】

「夫妻とも同じくらい」が71.0%と最も高く、「家族全員」が16.8%、「妻」が8.1%で続いている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、ほぼ同様の値となっている。

【性別】

男性で「妻」が10.8%と、女性(2.6%)に比べ8.2ポイント高い。一方、女性では「夫妻とも同じくらい」が77.8%と、男性(67.8%)に比べ10.0ポイント高い。

なお、市民意識調査結果と比較すると、男性、女性ともに「妻」が市民に比べより低い。また、女性では「夫妻とも同じくらい」が市民に比べより高い。

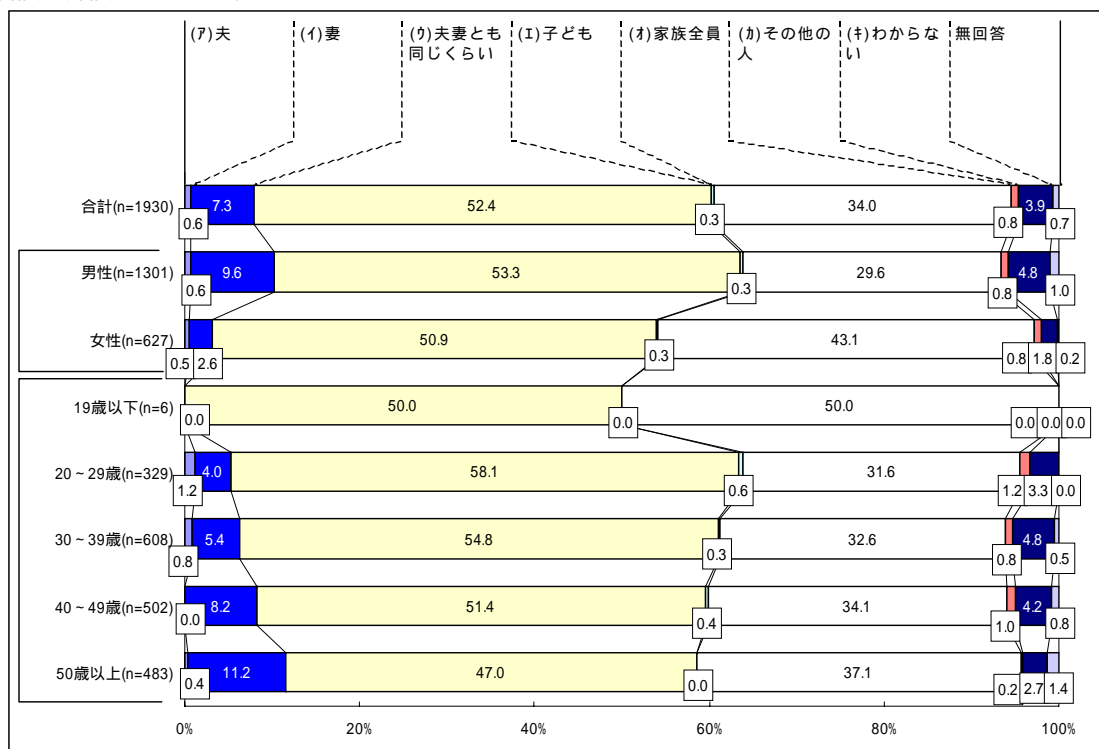
【年齢別】

特に大きな差異は認められない。

看護・介護

「夫妻とも同じくらい」が52.4%でトップ

看護・介護の理想の分担



(全体・性別・年齢別)

【全体】

「夫妻とも同じくらい」が52.4%と最も高く、「家族全員」が34.0%、「妻」が7.3%で続いている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、ほぼ同様の値となっている。

【性別】

男性で「妻」が9.6%と、女性(2.6%)に比べ7.0ポイント高い。一方、女性では「家族全員」が43.1%と、男性(29.6%)に比べ13.5ポイント高い。

なお、市民意識調査結果と比較すると、男性、女性ともにほぼ同様の値となっている。

【年齢別】

特に大きな差異は認められない。

参考：配偶者の職業別にみた家庭内の仕事の理想の分担

育児・しつけ、看護・介護以外の仕事については、配偶者が「勤め人(常勤)」、「自営業」の人では、「夫妻とも同じくらい」や「家族全員」が他に比べ高い傾向が認められる。一方、配偶者が「勤め人(非常勤、パートタイム、アルバイトなど)」、「専業主婦・専業主夫」の人では、「妻」が他に比べ高い傾向が認められる。

育児・しつけ、看護・介護については、配偶者の職業による差異は特に認められない。

		n	問16 食事のしたく						
			(7)夫	(イ)妻	(ウ)夫妻とも同じくらい	(I)子ども	(オ)家族全員	(カ)その他の人	(キ)わからない
F511 (配偶者の職業)	1. 勤め人(常勤)	604	0.3	32.3	39.9	0.3	24.0	0.7	1.8
	2. 勤め人(非常勤、パートタイム、アルバイトなど)	240	1.3	55.4	18.3	0.0	19.2	0.4	4.2
	3. 自営業(事業の経営者、家業の手伝い、内職など)	45	0.0	35.6	33.3	0.0	31.1	0.0	0.0
	5. 専業主婦・専業主夫	430	0.5	60.9	17.0	0.0	14.9	0.2	5.8
	6. 無職(4及び5を除く)	66	1.5	39.4	33.3	0.0	18.2	0.0	6.1
		n	問16 洗濯						
			(7)夫	(イ)妻	(ウ)夫妻とも同じくらい	(I)子ども	(オ)家族全員	(カ)その他の人	(キ)わからない
F511 (配偶者の職業)	1. 勤め人(常勤)	604	0.8	24.0	43.2	0.5	29.1	0.3	1.3
	2. 勤め人(非常勤、パートタイム、アルバイトなど)	240	0.4	50.8	23.3	0.0	20.0	0.0	4.2
	3. 自営業(事業の経営者、家業の手伝い、内職など)	45	2.2	33.3	26.7	0.0	37.8	0.0	0.0
	5. 専業主婦・専業主夫	430	0.2	49.5	27.4	0.0	16.5	0.2	5.3
	6. 無職(4及び5を除く)	66	1.5	50.0	21.2	0.0	21.2	0.0	4.5
		n	問16 食事の後かたづけ、食器洗い						
			(7)夫	(イ)妻	(ウ)夫妻とも同じくらい	(I)子ども	(オ)家族全員	(カ)その他の人	(キ)わからない
F511 (配偶者の職業)	1. 勤め人(常勤)	604	4.3	10.9	41.2	0.8	39.9	0.3	1.8
	2. 勤め人(非常勤、パートタイム、アルバイトなど)	240	1.7	32.1	26.3	0.0	35.0	0.0	3.8
	3. 自営業(事業の経営者、家業の手伝い、内職など)	45	0.0	20.0	35.6	0.0	44.4	0.0	0.0
	5. 専業主婦・専業主夫	430	3.0	30.9	34.2	0.2	25.6	0.2	5.1
	6. 無職(4及び5を除く)	66	3.0	27.3	34.8	0.0	28.8	0.0	4.5
		n	問16 育児・しつけ						
			(7)夫	(イ)妻	(ウ)夫妻とも同じくらい	(I)子ども	(オ)家族全員	(カ)その他の人	(キ)わからない
F511 (配偶者の職業)	1. 勤め人(常勤)	604	0.5	6.0	75.0	0.0	17.1	0.2	0.7
	2. 勤め人(非常勤、パートタイム、アルバイトなど)	240	1.7	10.8	65.8	0.0	17.5	0.0	2.9
	3. 自営業(事業の経営者、家業の手伝い、内職など)	45	0.0	6.7	80.0	0.0	13.3	0.0	0.0
	5. 専業主婦・専業主夫	430	0.7	13.0	69.3	0.0	13.0	0.2	2.8
	6. 無職(4及び5を除く)	66	1.5	10.6	71.2	0.0	12.1	0.0	3.0
		n	問16 掃除						
			(7)夫	(イ)妻	(ウ)夫妻とも同じくらい	(I)子ども	(オ)家族全員	(カ)その他の人	(キ)わからない
F511 (配偶者の職業)	1. 勤め人(常勤)	604	2.0	9.4	39.2	0.2	46.7	0.3	1.5
	2. 勤め人(非常勤、パートタイム、アルバイトなど)	240	0.8	30.4	29.2	0.0	34.6	0.0	3.8
	3. 自営業(事業の経営者、家業の手伝い、内職など)	45	0.0	24.4	22.2	0.0	53.3	0.0	0.0
	5. 専業主婦・専業主夫	430	1.9	26.5	35.1	0.0	30.5	0.5	4.9
	6. 無職(4及び5を除く)	66	3.0	27.3	24.2	0.0	37.9	0.0	6.1
		n	問16 看護・介護						
			(7)夫	(イ)妻	(ウ)夫妻とも同じくらい	(I)子ども	(オ)家族全員	(カ)その他の人	(キ)わからない
F511 (配偶者の職業)	1. 勤め人(常勤)	604	0.3	5.0	54.0	0.3	36.1	0.7	3.0
	2. 勤め人(非常勤、パートタイム、アルバイトなど)	240	0.4	14.2	47.9	0.0	31.3	0.4	4.6
	3. 自営業(事業の経営者、家業の手伝い、内職など)	45	0.0	4.4	53.3	0.0	40.0	0.0	2.2
	5. 専業主婦・専業主夫	430	0.5	10.0	54.0	0.0	28.6	0.7	5.6
	6. 無職(4及び5を除く)	66	3.0	10.6	50.0	0.0	30.3	0.0	4.5

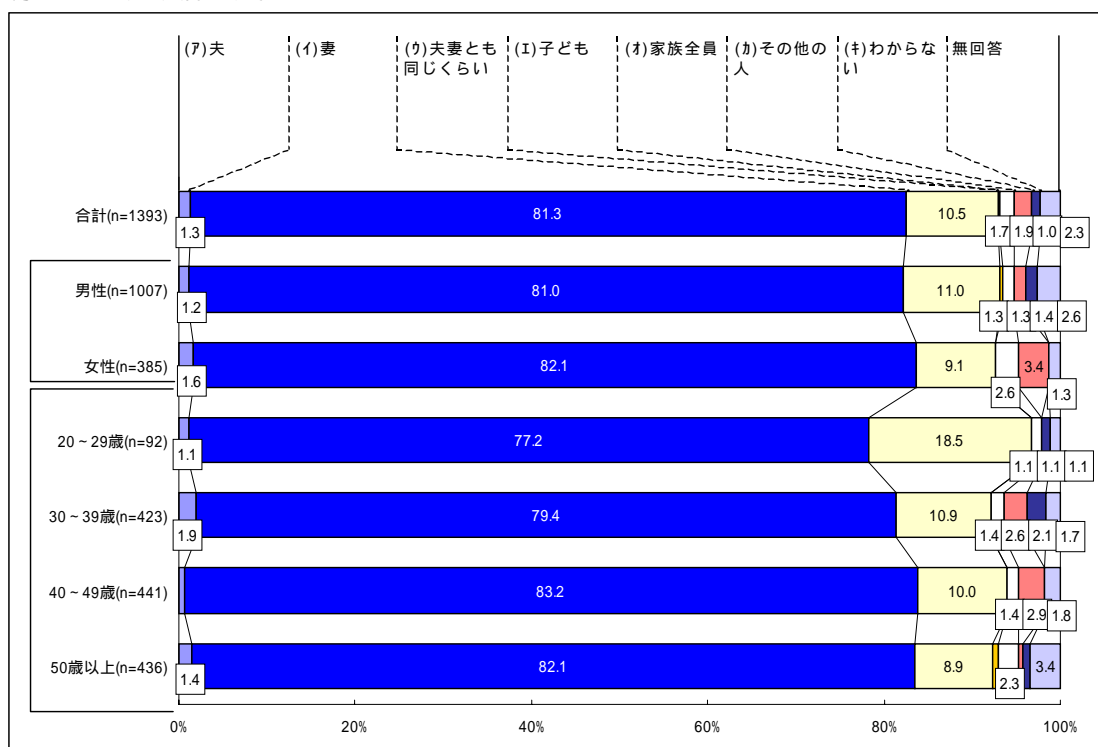
(17) 家庭内の仕事の実際の分担

問17 あなたの家庭では、次にあげるような家庭内の仕事を、実際に主にだれが分担していますか。(1つ選択)

食事のしたく

「妻」が81.3%でトップ

食事のしたくの実際の分担



このグラフにおいては、すべての数値を表示すると煩雑となるため、1.0%未満の数値の表示を省略している。

(全体・性別・年齢別)

【全体】

「妻」が81.3%と最も高く、「夫妻とも同じくらい」が10.5%、「その他の人」が1.9%で続いている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、「夫妻とも同じくらい」が市民に比べより高く、「妻」がより低い。

【性別】

特に大きな差異は認められない。

なお、市民意識調査結果と比較すると、男性、女性ともに「夫妻とも同じくらい」が市民に比べより高く、「妻」がより低い。

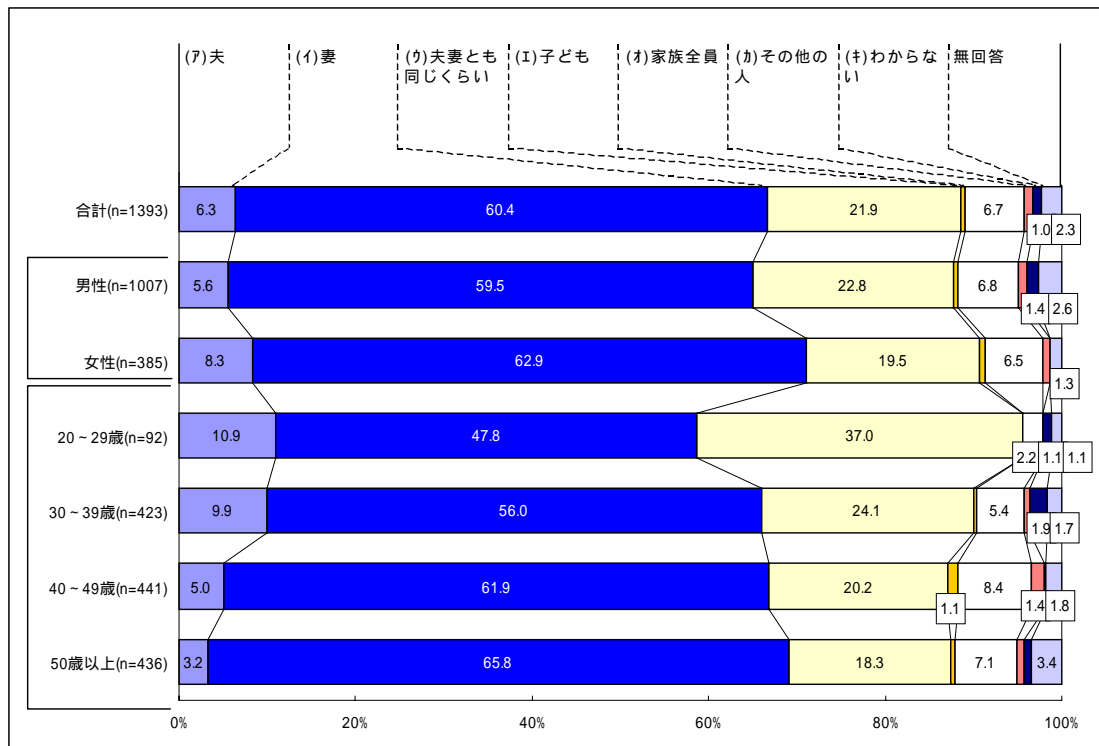
【年齢別】

20～29歳で「夫妻とも同じくらい」が18.5%と、他の年代に比べ高い。

食事の後かたづけ、食器洗い

「妻」が60.4%でトップ

食事の後かたづけ、食器洗いの実際の分担



このグラフにおいては、すべての数値を表示すると煩雑となるため、1.0%未満の数値の表示を省略している。

(全体・性別・年齢別)

【全体】

「妻」が60.4%と最も高く、「夫妻とも同じくらい」が21.9%、「家族全員」が6.7%で続いている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、「夫妻とも同じくらい」が市民に比べより高く、「妻」がより低い。

【性別】

特に大きな差異は認められない。

なお、市民意識調査結果と比較すると、男性、女性ともに「夫妻とも同じくらい」が市民に比べより高く、「妻」がより低い。また、女性では「夫」も市民に比べより高い。

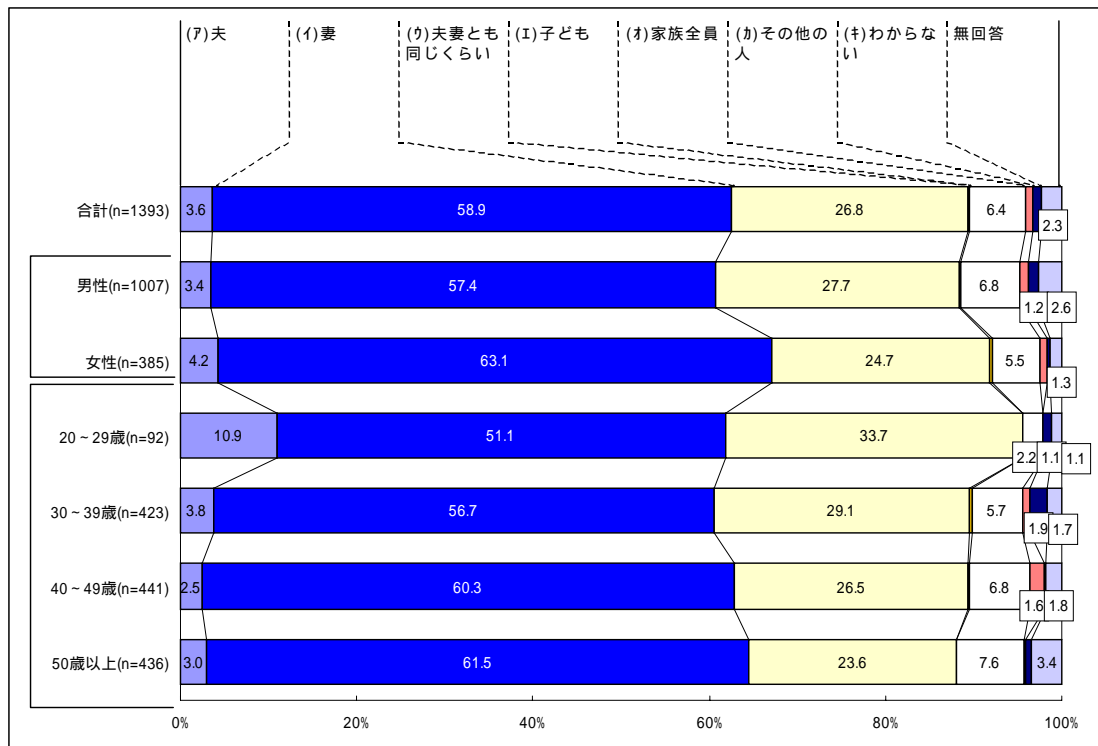
【年齢別】

20～29歳で「夫妻とも同じくらい」が37.0%と他の年代に比べ高く、「妻」が47.8%と他の年代に比べ低い。

掃除

「妻」が58.9%でトップ

掃除の実際の分担



このグラフにおいては、すべての数値を表示すると煩雑となるため、1.0%未満の数値の表示を省略している。

(全体・性別・年齢別)

【全体】

「妻」が58.9%と最も高く、「夫妻とも同じくらい」が26.8%、「家族全員」が6.4%で続いている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、「夫妻とも同じくらい」が市民に比べより高く、「妻」がより低い。

【性別】

特に大きな差異は認められない。

なお、市民意識調査結果と比較すると、男性、女性ともに「夫妻とも同じくらい」が市民に比べより高く、「妻」がより低い。

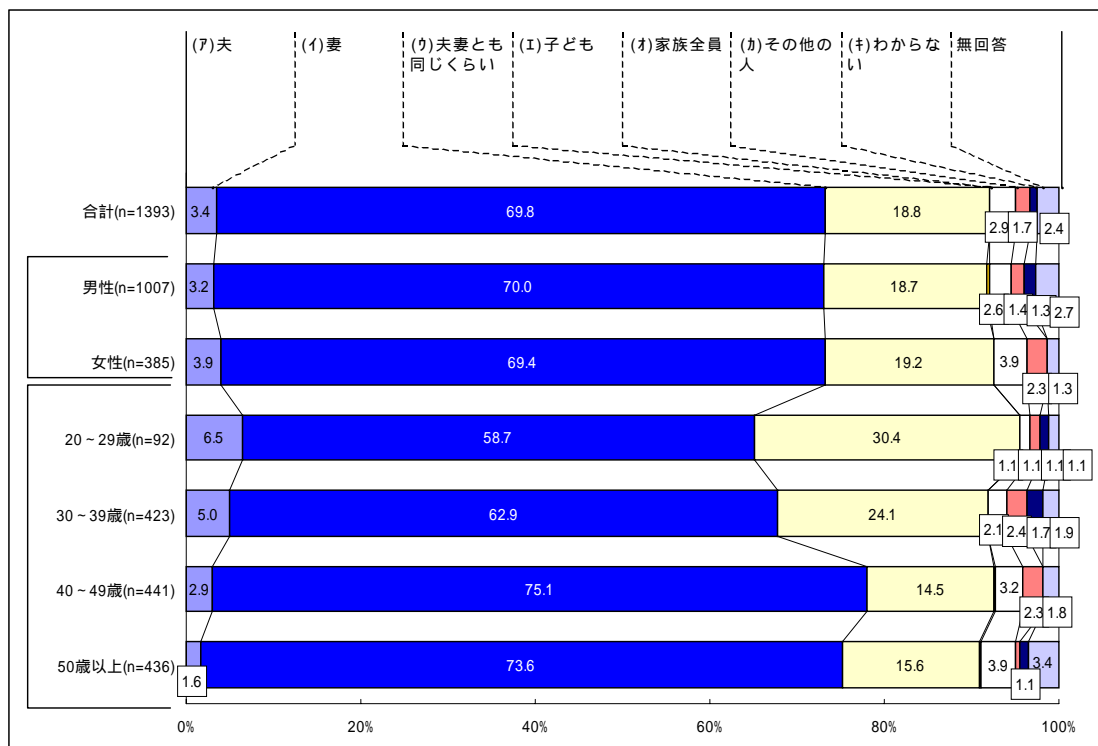
【年齢別】

20～29歳で「夫」が10.9%と、他の年代に比べ高い。

洗濯

「妻」が69.8%でトップ

洗濯の実際の分担



このグラフにおいては、すべての数値を表示すると煩雑となるため、1.0%未満の数値の表示を省略している。

(全体・性別・年齢別)

【全体】

「妻」が69.8%と最も高く、「夫妻とも同じくらい」が18.8%、「夫」が3.4%が続いている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、「夫妻とも同じくらい」が市民に比べより高く、「妻」がより低い。

【性別】

特に大きな差異は認められない。

なお、市民意識調査結果と比較すると、男性、女性ともに「夫妻とも同じくらい」が市民に比べより高く、「妻」がより低い。

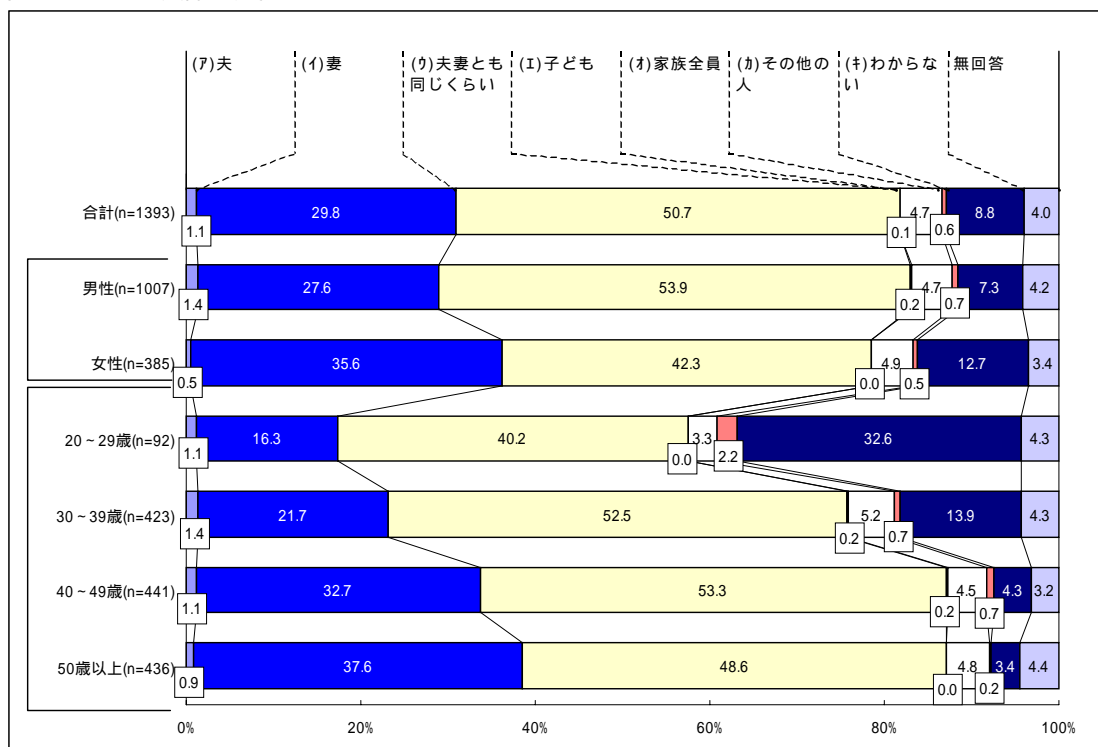
【年齢別】

20～39歳で「夫妻とも同じくらい」が2割以上と、他の年代に比べ高い。また、40歳以上では「妻」が7割以上と、他の年代に比べ高い。

育児・しつけ

「夫妻とも同じくらい」が50.7%でトップ

育児・しつけの実際の分担



「わからない」の回答が多いのは、未婚、または結婚していても子どもがいないために「育児・しつけ」の役割が現実にはない方が選択したものと想定される。

(全体・性別・年齢別)

【全体】

「夫妻とも同じくらい」が50.7%と最も高く、「妻」が29.8%、「わからない」が8.8%で続いている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、「夫妻とも同じくらい」が市民に比べより高く、「妻」がより低い。

【性別】

男性で「夫妻とも同じくらい」が53.9%と、女性(42.3%)に比べ11.6ポイント高い。一方、女性では「妻」が35.6%と、男性(27.6%)に比べ8.0ポイント高い。

なお、市民意識調査結果と比較すると、男性、女性ともに「夫妻とも同じくらい」が市民に比べより高く、「妻」がより低い。

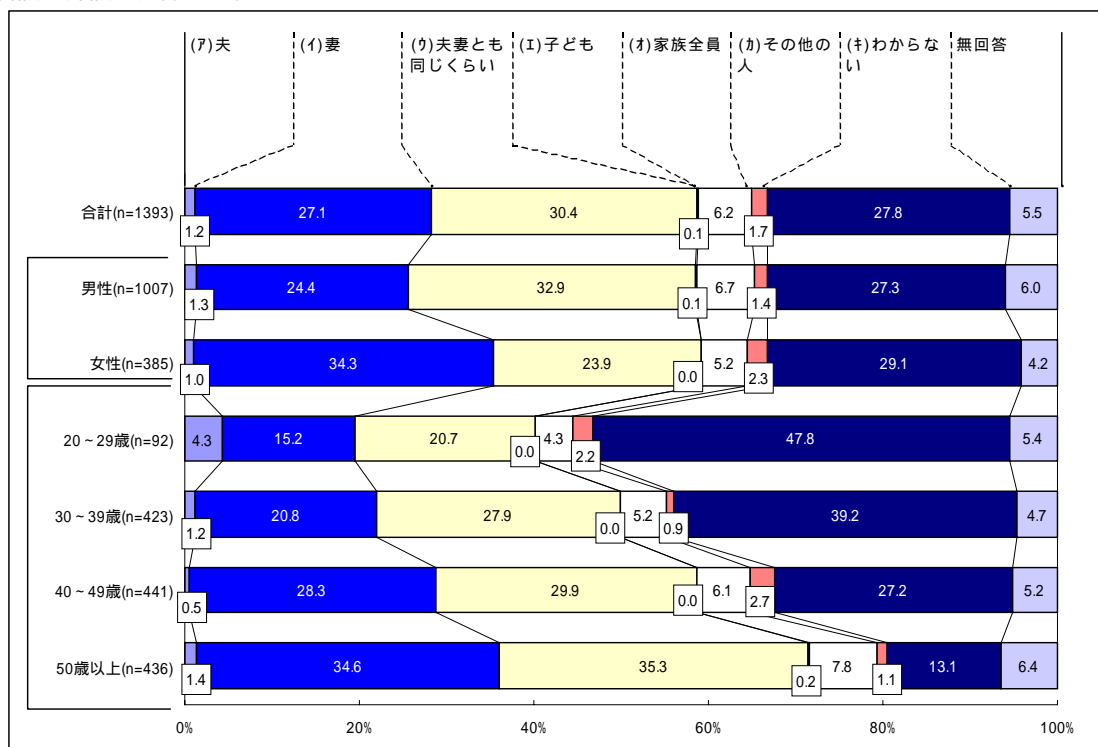
【年齢別】

40歳以上で「妻」が3割以上と、他の年代に比べ高い。なお、20～29歳では「夫妻とも同じくらい」が他の年代に比べ低いが、「わからない」が高いため、一概に傾向があるとはいえない。

看護・介護

「夫妻とも同じくらい」30.4%、「わからない」27.8%、「妻」27.1% の順

看護・介護の実際の分担



「わからない」の回答が多いのは、「看護・介護」を必要とする人が身近にいないため、その役割が現実にはない方が選択したものと想定される。

(全体・性別・年齢別)

【全体】

「夫妻とも同じくらい」が30.4%、「わからない」が27.8%、「妻」が27.1%となっている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、「妻」が市民に比べより低く、「わからない」がより高い。

【性別】

男性で「夫妻とも同じくらい」が32.9%と、女性(23.9%)に比べ9.0ポイント高い。一方、女性では「妻」が34.3%と、男性(24.4%)に比べ9.9ポイント高い。

なお、市民意識調査結果と比較すると、男性、女性ともに「妻」が市民に比べより低く、「わからない」がより高い。

【年齢別】

「妻」は年代があがるほど高くなる傾向が認められる。ただし、「わからない」は年代がさがるほど高くなる傾向が認められる。

参考：配偶者の職業別にみた家庭内の仕事の実際的な負担

食事の後かたづけ、食器洗い、掃除、洗濯については、配偶者が「勤め人（常勤）」の人で「夫妻とも同じくらい」が他に比べ高く、「妻」が他に比べ低い傾向が認められる。食事の後かたづけ、食器洗いについては、配偶者が「勤め人（常勤）」の人で「夫」も他に比べ高い。看護・介護については、配偶者が「自営業」、「無職」の人で「妻」が他に比べ高い。

食事のしたく、育児・しつけについては、配偶者の職業による差異は特に認められない。

		n	問17 食事のしたく						
			(7)夫	(イ)妻	(ウ)夫妻とも同じくらい	(1)子ども	(4)家族全員	(ハ)その他の人	(ワ)わからない
F511 (配偶者の職業)	1. 勤め人（常勤）	604	2.2	76.5	13.6	0.2	1.7	3.6	0.5
	2. 勤め人（非常勤、パートタイム、アルバイトなど）	240	0.8	84.2	10.0	0.0	0.4	1.3	0.8
	3. 自営業（事業の経営者、家業の手伝い、内職など）	45	0.0	82.2	8.9	0.0	6.7	0.0	0.0
	5. 専業主婦・専業主夫	430	0.2	87.4	6.3	0.2	1.6	0.2	1.6
	6. 無職（4及び5を除く）	66	3.0	72.7	13.6	0.0	3.0	0.0	3.0

		n	問17 洗濯						
			(7)夫	(イ)妻	(ウ)夫妻とも同じくらい	(1)子ども	(4)家族全員	(ハ)その他の人	(ワ)わからない
F511 (配偶者の職業)	1. 勤め人（常勤）	604	6.1	59.4	25.8	0.2	4.0	2.3	0.3
	2. 勤め人（非常勤、パートタイム、アルバイトなど）	240	1.3	75.0	16.3	0.4	1.3	2.1	1.3
	3. 自営業（事業の経営者、家業の手伝い、内職など）	45	2.2	77.8	13.3	0.0	2.2	2.2	0.0
	5. 専業主婦・専業主夫	430	1.2	80.2	12.1	0.0	2.1	0.5	1.4
	6. 無職（4及び5を除く）	66	1.5	71.2	12.1	0.0	6.1	1.5	3.0

		n	問17 食事の後かたづけ、食器洗い						
			(7)夫	(イ)妻	(ウ)夫妻とも同じくらい	(1)子ども	(4)家族全員	(ハ)その他の人	(ワ)わからない
F511 (配偶者の職業)	1. 勤め人（常勤）	604	10.6	52.8	26.2	0.5	6.5	1.0	0.7
	2. 勤め人（非常勤、パートタイム、アルバイトなど）	240	3.3	63.8	19.6	0.4	7.5	2.1	0.8
	3. 自営業（事業の経営者、家業の手伝い、内職など）	45	0.0	71.1	15.6	2.2	8.9	0.0	0.0
	5. 専業主婦・専業主夫	430	2.6	68.1	18.8	0.5	6.0	0.2	1.4
	6. 無職（4及び5を除く）	66	4.5	59.1	18.2	1.5	9.1	0.0	3.0

		n	問17 育児・しつけ						
			(7)夫	(イ)妻	(ウ)夫妻とも同じくらい	(1)子ども	(4)家族全員	(ハ)その他の人	(ワ)わからない
F511 (配偶者の職業)	1. 勤め人（常勤）	604	1.5	27.2	48.0	0.2	5.0	0.7	12.9
	2. 勤め人（非常勤、パートタイム、アルバイトなど）	240	1.3	30.4	52.9	0.4	5.8	1.3	5.0
	3. 自営業（事業の経営者、家業の手伝い、内職など）	45	0.0	37.8	44.4	0.0	4.4	0.0	11.1
	5. 専業主婦・専業主夫	430	0.9	31.2	54.7	0.0	3.7	0.5	5.8
	6. 無職（4及び5を除く）	66	0.0	36.4	47.0	0.0	6.1	0.0	4.5

		n	問17 掃除						
			(7)夫	(イ)妻	(ウ)夫妻とも同じくらい	(1)子ども	(4)家族全員	(ハ)その他の人	(ワ)わからない
F511 (配偶者の職業)	1. 勤め人（常勤）	604	5.6	51.8	32.6	0.2	6.3	1.0	0.7
	2. 勤め人（非常勤、パートタイム、アルバイトなど）	240	2.5	65.4	22.1	0.0	5.0	1.7	0.8
	3. 自営業（事業の経営者、家業の手伝い、内職など）	45	2.2	71.1	20.0	0.0	4.4	0.0	0.0
	5. 専業主婦・専業主夫	430	1.6	62.3	24.9	0.2	7.0	0.5	1.2
	6. 無職（4及び5を除く）	66	3.0	69.7	9.1	0.0	10.6	0.0	3.0

		n	問17 看護・介護						
			(7)夫	(イ)妻	(ウ)夫妻とも同じくらい	(1)子ども	(4)家族全員	(ハ)その他の人	(ワ)わからない
F511 (配偶者の職業)	1. 勤め人（常勤）	604	1.3	25.3	28.5	0.2	5.1	1.8	32.1
	2. 勤め人（非常勤、パートタイム、アルバイトなど）	240	0.8	25.0	36.3	0.0	7.9	2.5	22.5
	3. 自営業（事業の経営者、家業の手伝い、内職など）	45	0.0	35.6	33.3	0.0	4.4	2.2	22.2
	5. 専業主婦・専業主夫	430	1.6	28.6	29.3	0.0	6.7	1.2	27.0
	6. 無職（4及び5を除く）	66	0.0	34.8	31.8	0.0	9.1	0.0	18.2

5 男女共同参画に関する施策などについて

(18) 男女共同参画関連事項の認知度

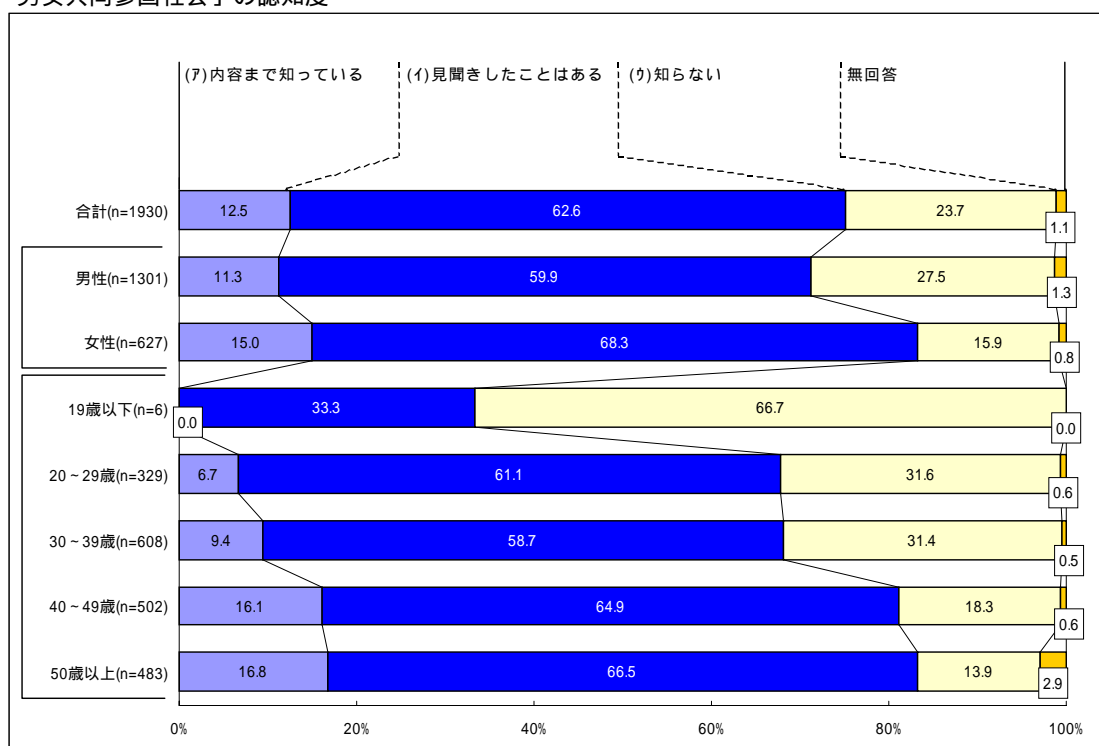
問18 次の男女共同参画に関する事項を、あなたはどの程度ご存知ですか。
(1つ選択)

「内容まで知っている」と「見聞きしたことはある」を合わせて『知っている』とする。

男女共同参画社会

『知っている』75.1% > 「知らない」23.7%

「男女共同参画社会」の認知度



(全体・性別・年齢別)

【全体】

「見聞きしたことはある」が62.6%と最も高く、「知らない」が23.7%、「内容まで知っている」が12.5%で続いている。『知っている』(75.1%)が、「知らない」(23.7%)を大きく上回っている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、「内容まで知っている」、「見聞きしたことはある」が市民に比べより高く、「知らない」がより低い。

【性別】

男性で「知らない」が27.5%と、女性(15.9%)に比べ11.6ポイント高い。一方、女性では「見聞きしたことはある」が68.3%、「知っている」が83.3%とそれぞれ男性に比べ高い。

なお、市民意識調査結果と比較すると、男性、女性ともに「内容まで知っている」、「見聞きしたことはある」が市民に比べより高く、「知らない」がより低い。

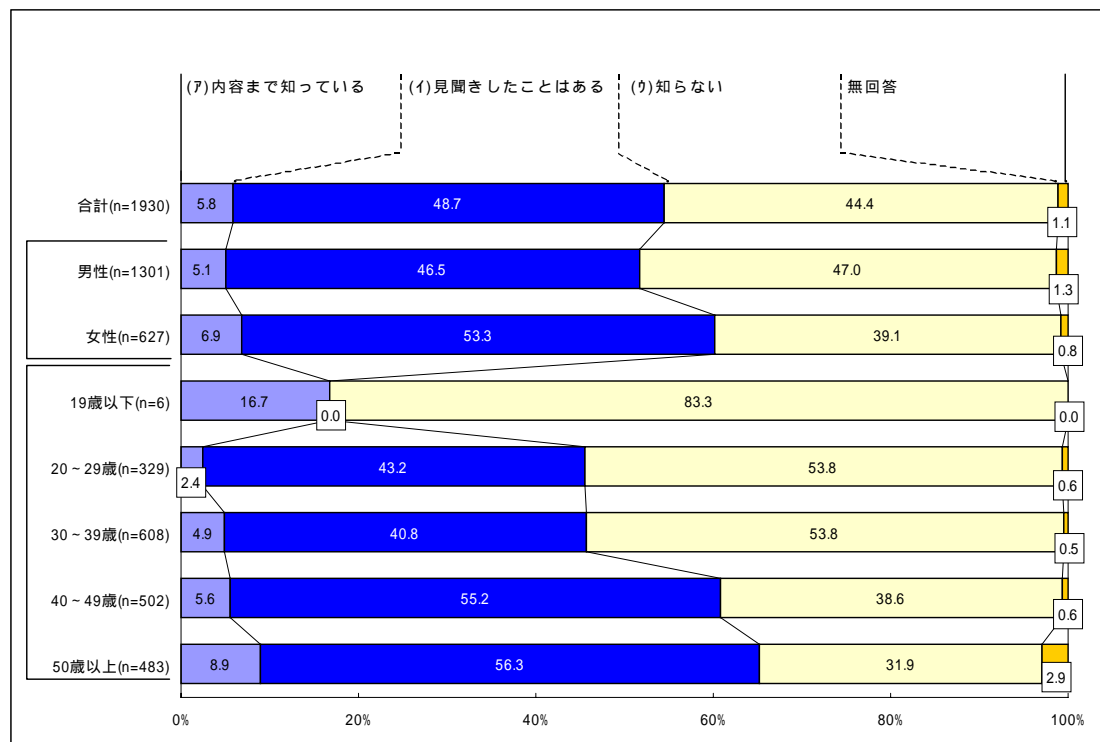
【年齢別】

40歳以上で「内容まで知っている」が15%以上、『知っている』が8割以上とそれぞれ他の年代に比べ高い。

男女共同参画社会基本法

『知っている』54.5% > 「知らない」44.4%

「男女共同参画社会基本法」の認知度



(全体・性別・年齢別)

【全体】

「見聞きしたことはある」が48.7%、「知らない」が44.4%と高く、「内容まで知っている」は5.8%にとどまっている。『知っている』(54.5%)が、「知らない」(44.4%)を大きく上回っている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、「見聞きしたことはある」が市民に比べより高く、「知らない」がより低い。

【性別】

男性で「知らない」が47.0%と、女性(39.1%)に比べ7.9ポイント高い。一方、女性では「見聞きしたことはある」が53.3%、『知っている』が60.2%とそれぞれ男性に比べ高い。

なお、市民意識調査結果と比較すると、男性、女性ともに「見聞きしたことはある」が市民に比べより高く、「知らない」がより低い。

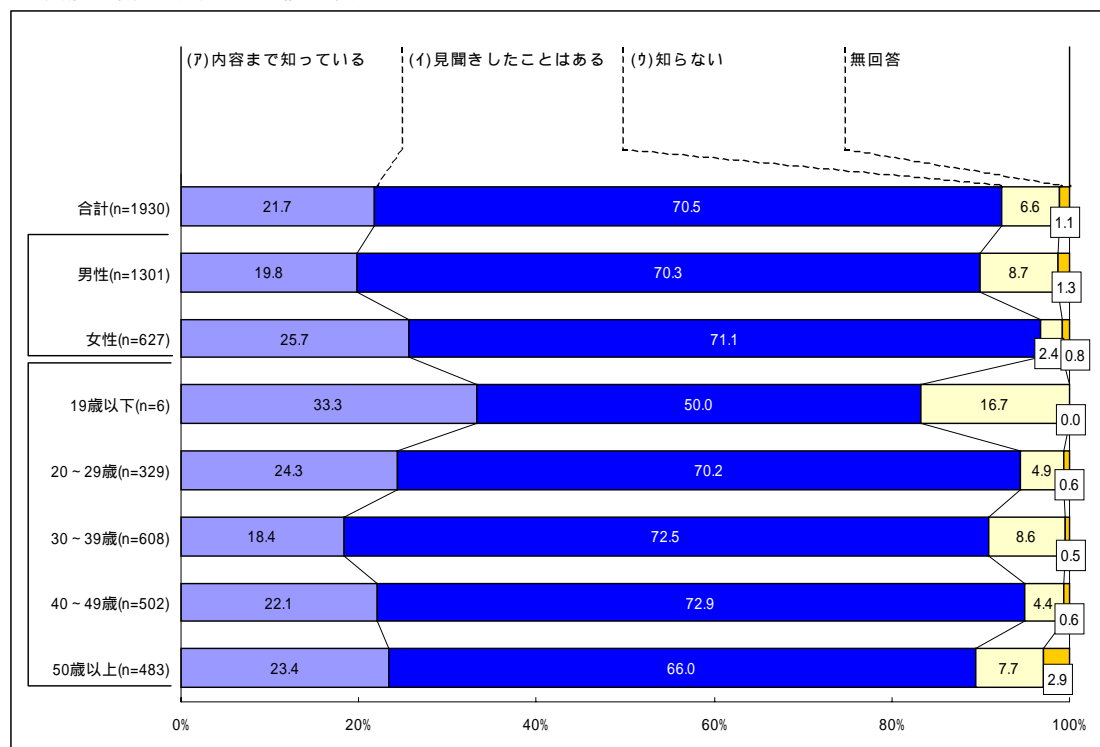
【年齢別】

20～39歳で「知らない」が5割以上と、他の年代に比べ高い。一方、40歳以上では「見聞きしたことはある」が55%以上、『知っている』が6割以上とそれぞれ他の年代に比べ高い。

男女雇用機会均等法

『知っている』92.2% > 「知らない」6.6%

「男女雇用機会均等法」の認知度



(全体・性別・年齢別)

【全体】

「聞きしたことはある」が70.5%と最も高く、「内容まで知っている」が21.7%、「知らない」が6.6%が続いている。『知っている』(92.2%)が、「知らない」(6.6%)を大きく上回っている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、「聞きしたことはある」が市民に比べより高く、「知らない」がより低い。

【性別】

男性で「知らない」が8.7%と、女性(2.4%)に比べ6.3ポイント高い。一方、女性では『知っている』が96.8%と、男性(90.1%)に比べ6.7ポイント高い。

なお、市民意識調査結果と比較すると、男性で「聞きしたことはある」が市民に比べより高く、「内容まで知っている」がより低い。また、女性では「内容まで知っている」、「聞きしたことはある」が市民に比べより高く、「知らない」がより低い。

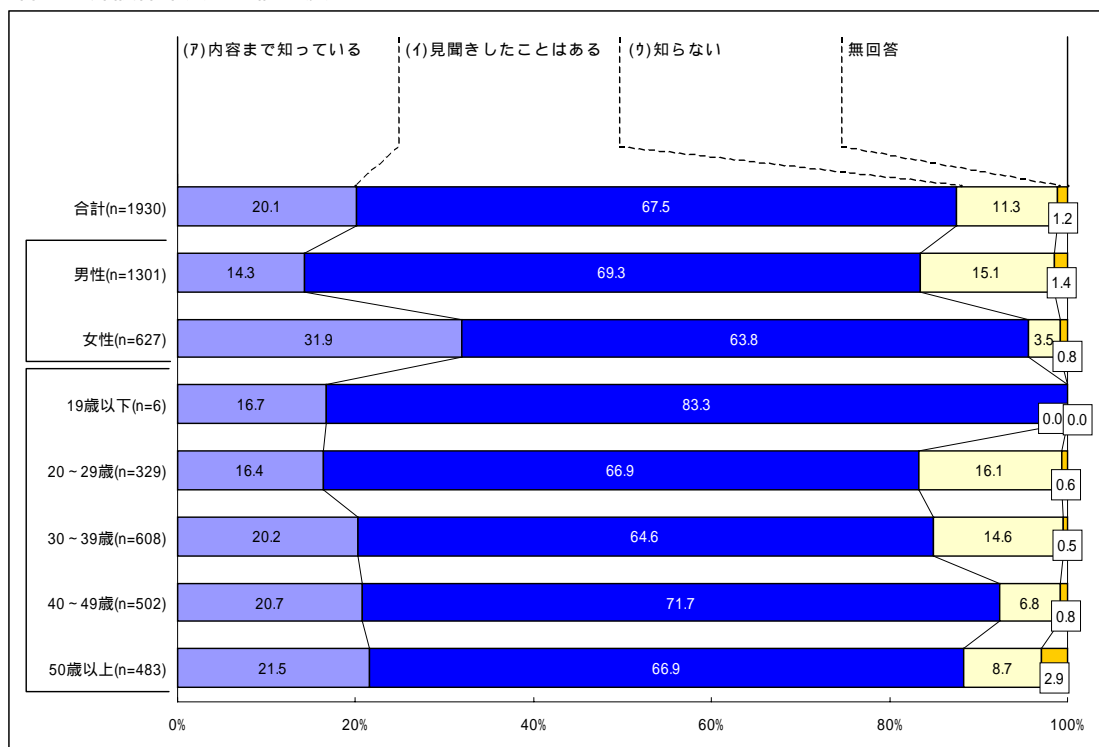
【年齢別】

特に大きな差異は認められない。

育児・介護休業法

『知っている』87.6% > 「知らない」11.3%

「育児・介護休業法」の認知度



(全体・性別・年齢別)

【全体】

「聞きしたことはある」が67.5%と最も高く、「内容まで知っている」が20.1%、「知らない」が11.3%が続いている。『知っている』(87.6%)が、「知らない」(11.3%)を大きく上回っている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、「聞きしたことはある」が市民に比べより高く、「知らない」がより低い。

【性別】

男性で「知らない」が15.1%と、女性(3.5%)に比べ11.6ポイント高い。一方、女性では「内容まで知っている」が31.9%、『知っている』が95.7%とそれぞれ男性に比べ高い。

なお、市民意識調査結果と比較すると、男性、女性ともに「聞きしたことはある」が市民に比べより高い。また、女性では「内容まで知っている」も市民に比べより高く、「知らない」がより低い。

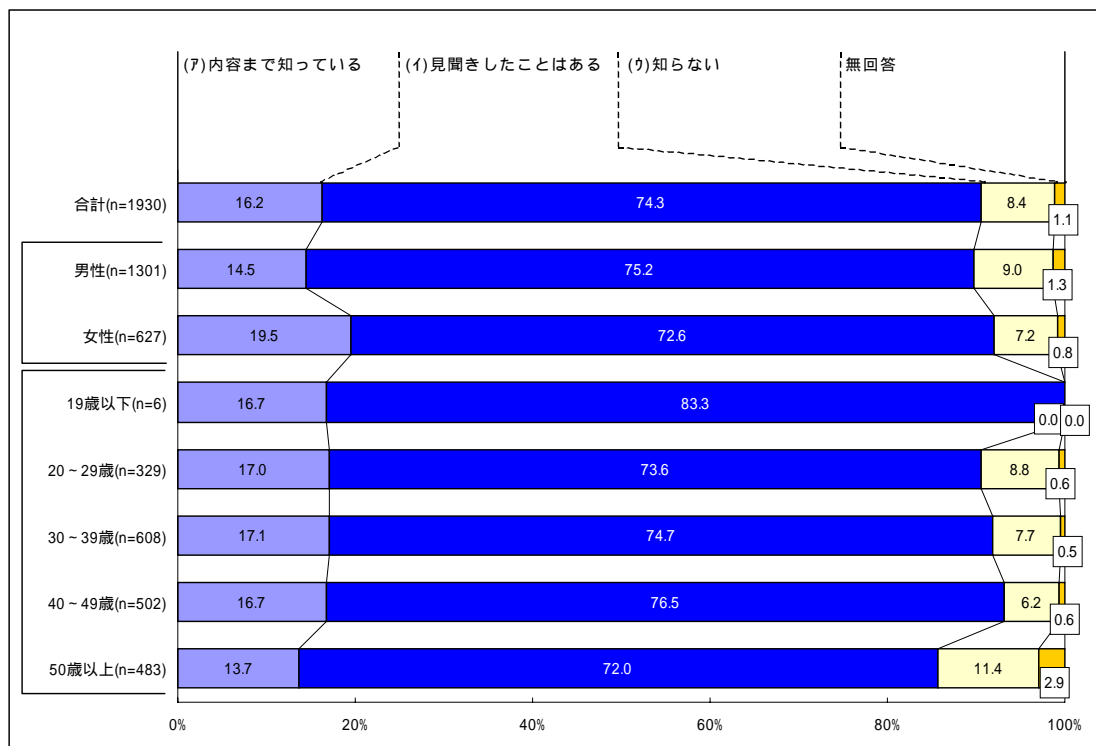
【年齢別】

特に大きな差異は認められない。

ストーカー規制法

『知っている』90.5% > 「知らない」8.4%

「ストーカー規制法」の認知度



(全体・性別・年齢別)

【全体】

「見聞きしたことはある」が74.3%と最も高く、「内容まで知っている」が16.2%、「知らない」が8.4%が続いている。『知っている』(90.5%)が、「知らない」(8.4%)を大きく上回っている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、「見聞きしたことはある」が市民に比べより高く、「知らない」がより低い。

【性別】

特に大きな差異は認められない。

なお、市民意識調査結果と比較すると、男性、女性ともに「見聞きしたことはある」が市民に比べより高い。また、女性では「知らない」が市民に比べより低い。

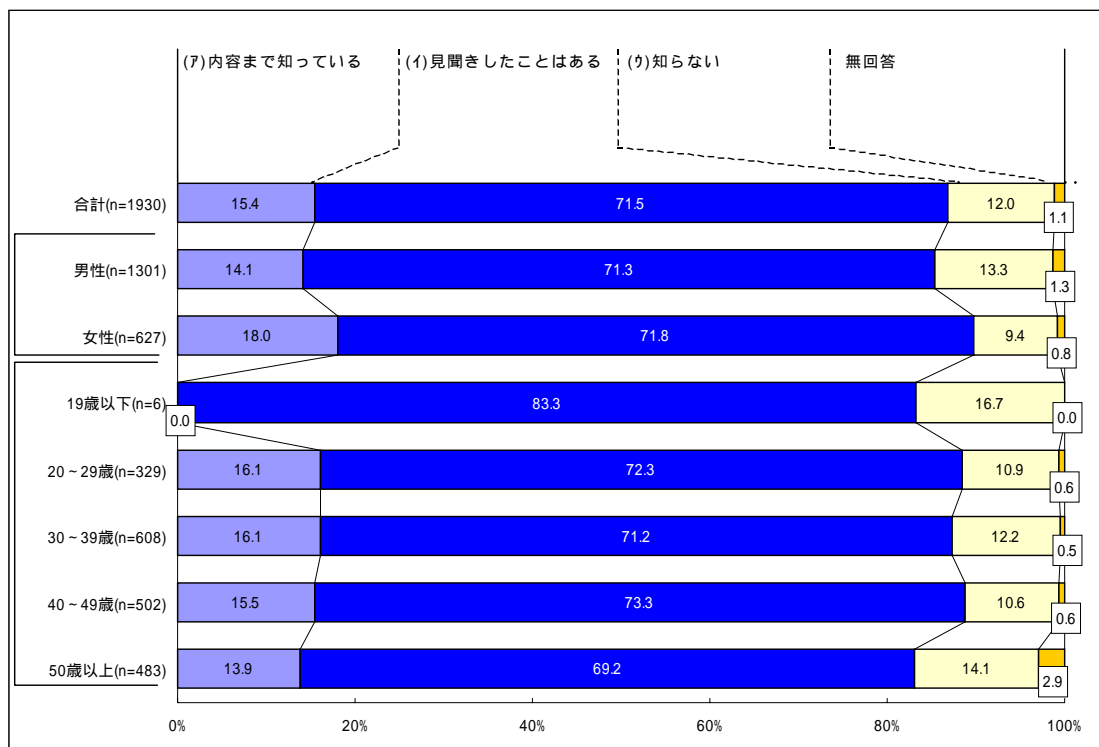
【年齢別】

特に大きな差異は認められない。

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）

『知っている』86.9% > 『知らない』12.0%

「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）」の認知度



(全体・性別・年齢別)

【全体】

「見聞きしたことはある」が71.5%と最も高く、「内容まで知っている」が15.4%、「知らない」が12.0%で続いている。『知っている』(86.9%)が、「知らない」(12.0%)を大きく上回っている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、「見聞きしたことはある」が市民に比べより高く、「知らない」がより低い。

【性別】

特に大きな差異は認められない。

なお、市民意識調査結果と比較すると、男性、女性ともに「見聞きしたことはある」が市民に比べより高く、「知らない」がより低い。また、女性では「内容まで知っている」も市民に比べより高い。

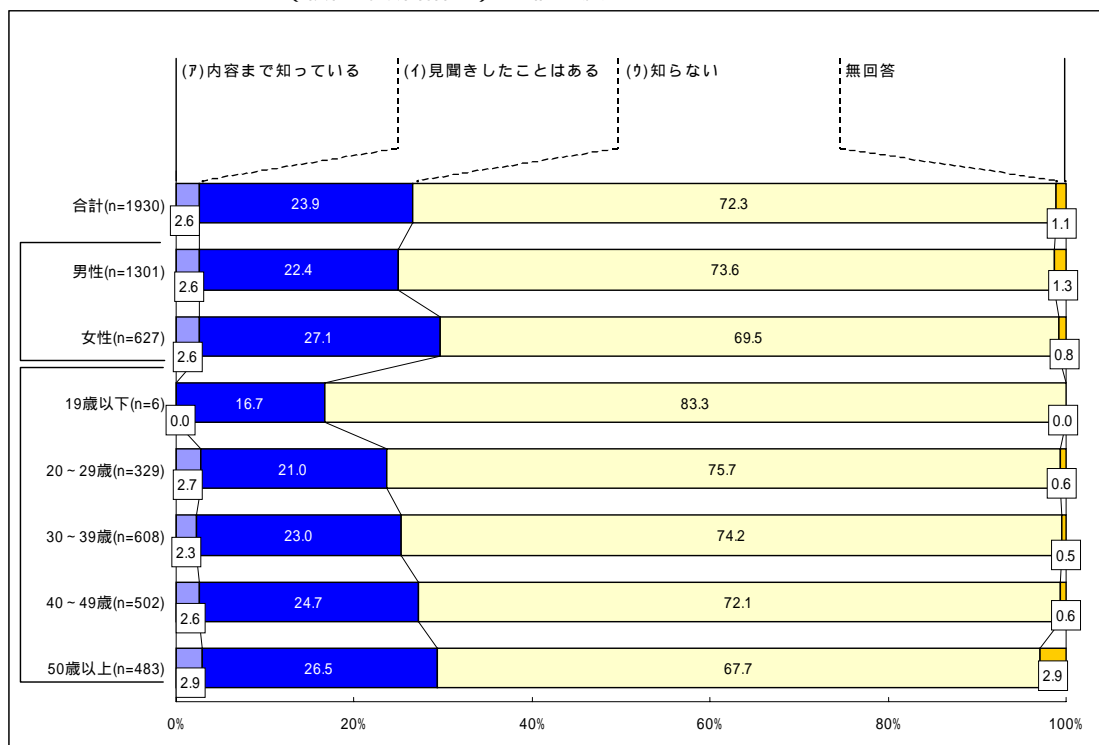
【年齢別】

特に大きな差異は認められない。

ポジティブ・アクション（積極的改善措置）

「知らない」72.3% > 「知っている」26.5%

「ポジティブ・アクション（積極的改善措置）」の認知度



(全体・性別・年齢別)

【全体】

「知らない」が72.3%と最も高く、「見聞きしたことはある」が23.9%で続いており、「内容まで知っている」は2.6%にとどまっている。「知らない」(72.3%)が、「知っている」(26.5%)を大きく上回っている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、「見聞きしたことはある」が市民に比べより高い。

【性別】

特に大きな差異は認められない。

なお、市民意識調査結果と比較すると、男性、女性ともに「見聞きしたことはある」が市民に比べより高い。また、女性では「知らない」が市民に比べより低い。

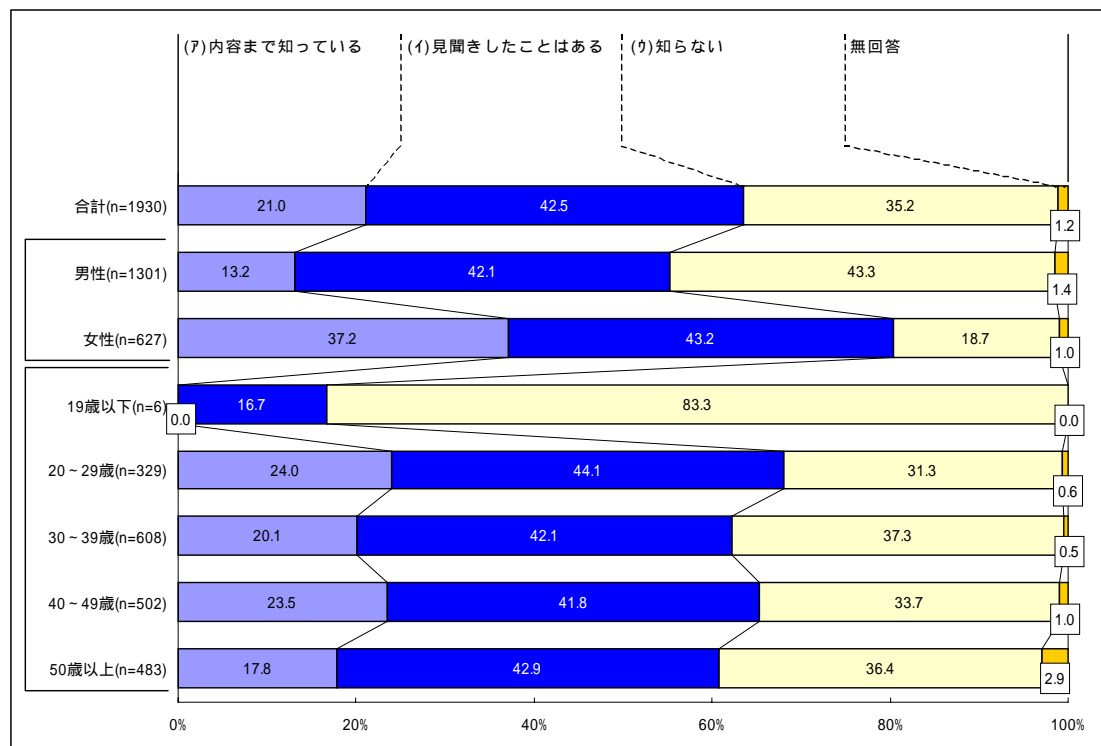
【年齢別】

特に大きな差異は認められない。

ジェンダー（社会的・文化的につくられた性別）

『知っている』63.5% > 「知らない」35.2%

「ジェンダー（社会的・文化的につくられた性別）」の認知度



（全体・性別・年齢別）

【全体】

「見聞きしたことはある」が42.5%と最も高く、「知らない」が35.2%、「内容まで知っている」が21.0%が続いている。『知っている』（63.5%）が、「知らない」（35.2%）を大きく上回っている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、「内容まで知っている」、「見聞きしたことはある」が市民に比べより高く、「知らない」がより低い。

【性別】

男性で「知らない」が43.3%と、女性（18.7%）に比べ24.6ポイント高い。一方、女性では「内容まで知っている」が37.2%、『知っている』が80.4%とそれぞれ男性に比べ高い。

なお、市民意識調査結果と比較すると、男性、女性ともに「内容まで知っている」、「見聞きしたことはある」が市民に比べより高く、「知らない」がより低い。

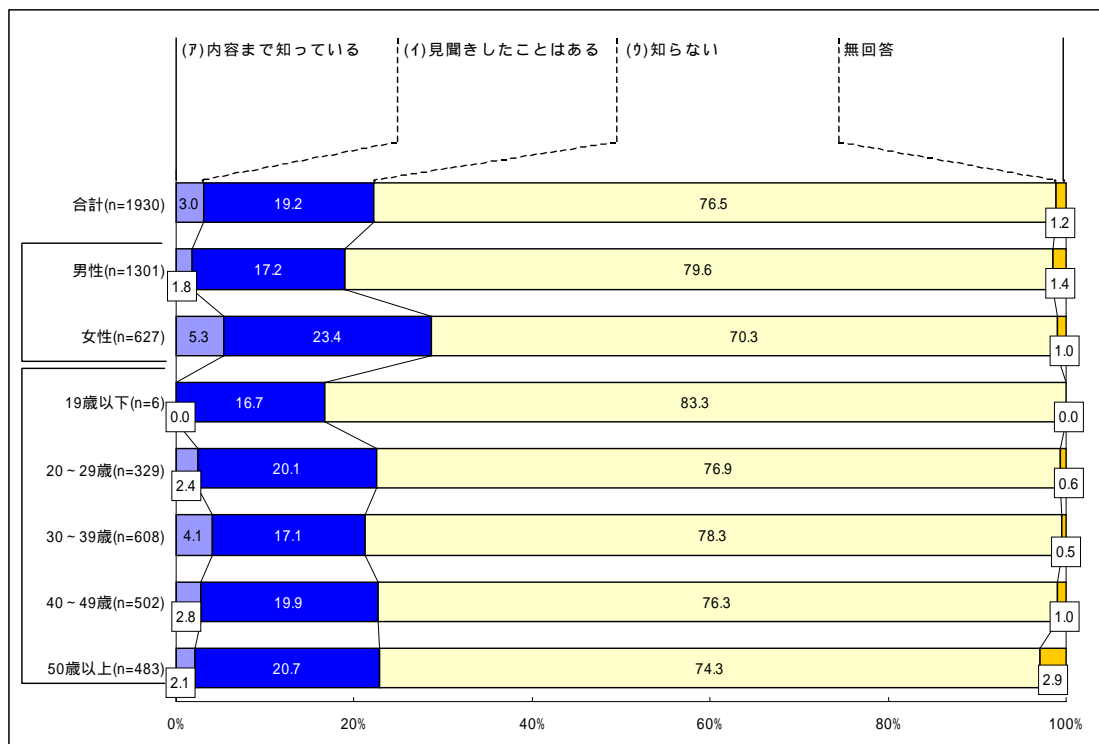
【年齢別】

特に大きな差異は認められない。

リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する女性の健康/権利）

「知らない」76.5% > 『知っている』22.2%

「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する女性の健康/権利）」の認知度



(全体・性別・年齢別)

【全体】

「知らない」が76.5%と最も高く、「見聞きしたことはある」が19.2%で続いており、「内容まで知っている」は3.0%にとどまっている。「知らない」(76.5%)が、『知っている』(22.2%)を大きく上回っている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、「見聞きしたことはある」が市民に比べより高い。

【性別】

男性で「知らない」が79.6%と、女性(70.3%)に比べ9.3ポイント高い。一方、女性では「見聞きしたことはある」が23.4%、『知っている』が28.7%とそれぞれ男性に比べ高い。

なお、市民意識調査結果と比較すると、男性、女性ともに「見聞きしたことはある」が市民に比べより高い。また、女性では「知らない」が市民に比べより低い。

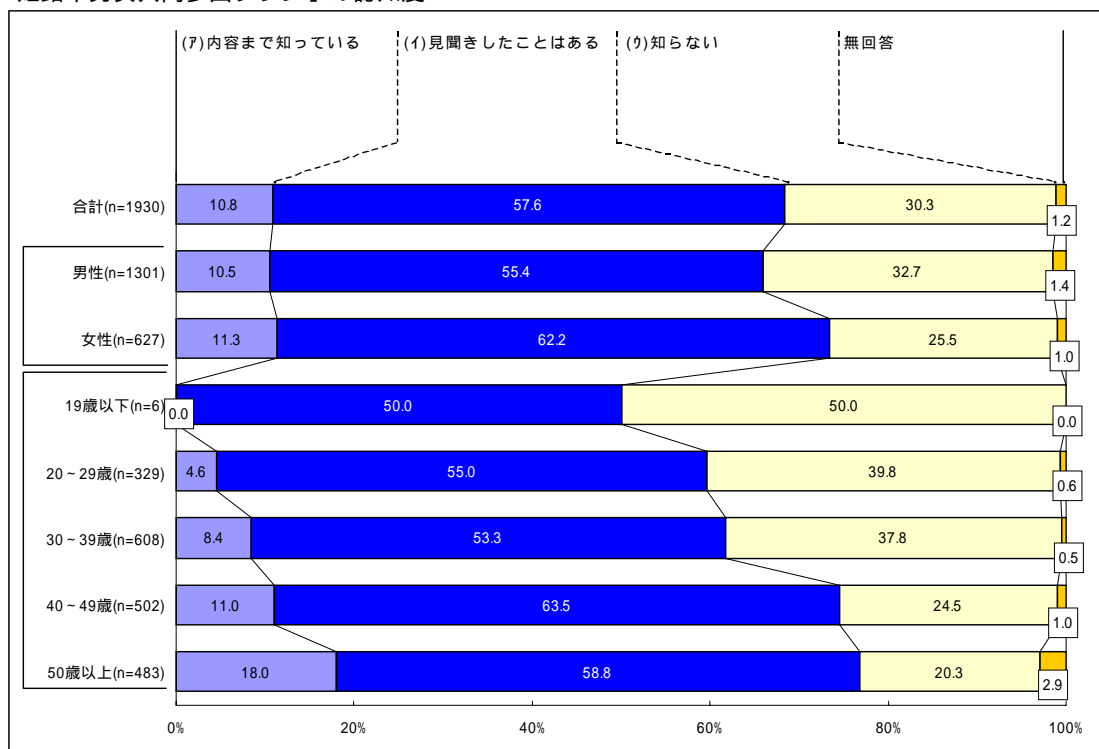
【年齢別】

特に大きな差異は認められない。

姫路市男女共同参画プラン

『知っている』68.4% > 「知らない」30.3%

「姫路市男女共同参画プラン」の認知度



(全体・性別・年齢別)

【全体】

「見聞きしたことはある」が57.6%と最も高く、「知らない」が30.3%、「内容まで知っている」が10.8%が続いている。『知っている』(68.4%)が、「知らない」30.3%を大きく上回っている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、「内容まで知っている」、「見聞きしたことはある」が市民に比べより高く、「知らない」がより低い。

【性別】

男性で「知らない」が32.7%と、女性(25.5%)に比べ7.2ポイント高い。一方、女性では「見聞きしたことはある」が62.2%、『知っている』が73.5%とそれぞれ男性に比べ高い。

なお、市民意識調査結果と比較すると、男性、女性ともに「内容まで知っている」、「見聞きしたことはある」が市民に比べより高く、「知らない」がより低い。

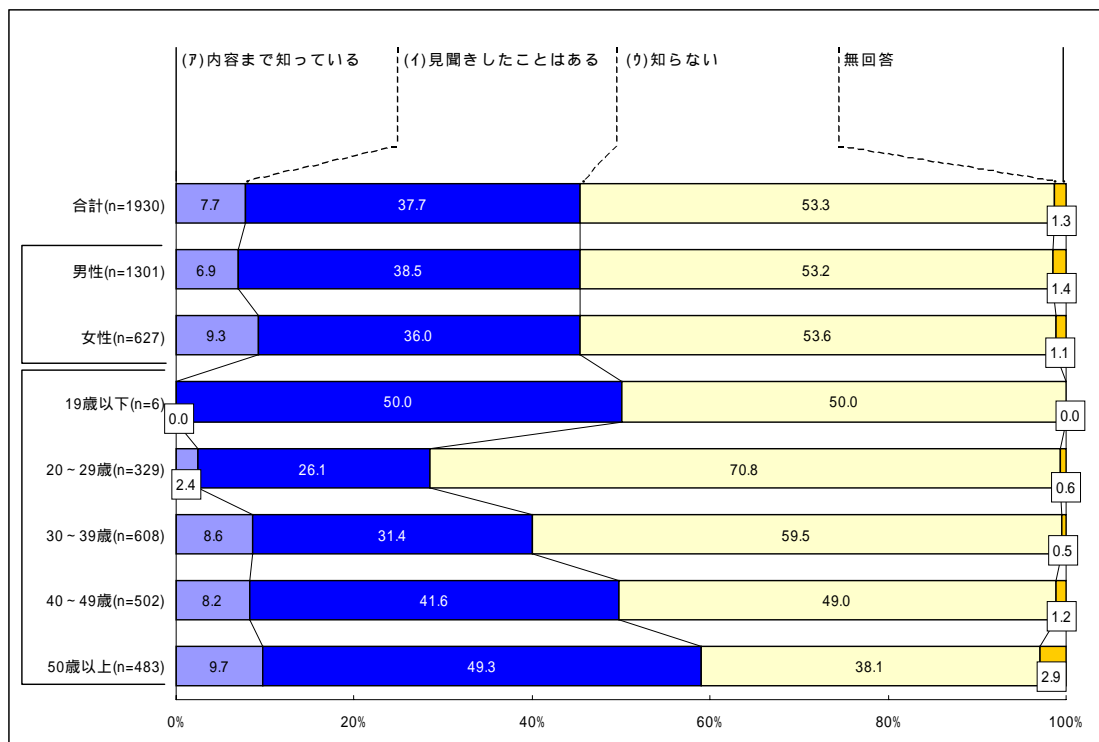
【年齢別】

20～39歳で「知らない」が35%以上と、他の年代に比べ高い。一方、40歳以上では『知っている』が75%前後と、他の年代に比べ高い。また、50歳以上で「内容まで知っている」が18.0%と、他の年代に比べ高い。

男女平等に関する表現指針（職員用刊行物作成の手引き）

「知らない」53.3% > 「知っている」45.4%

「男女平等に関する表現指針（職員用刊行物作成の手引き）」の認知度



（全体・性別・年齢別）

【全体】

「知らない」が53.3%と最も高く、「見聞きしたことはある」が37.7%で続いており、「内容まで知っている」は7.7%にとどまっている。「知らない」(53.3%)が、「知っている」(45.4%)を上回っている。

【性別】

特に大きな差異は認められない。

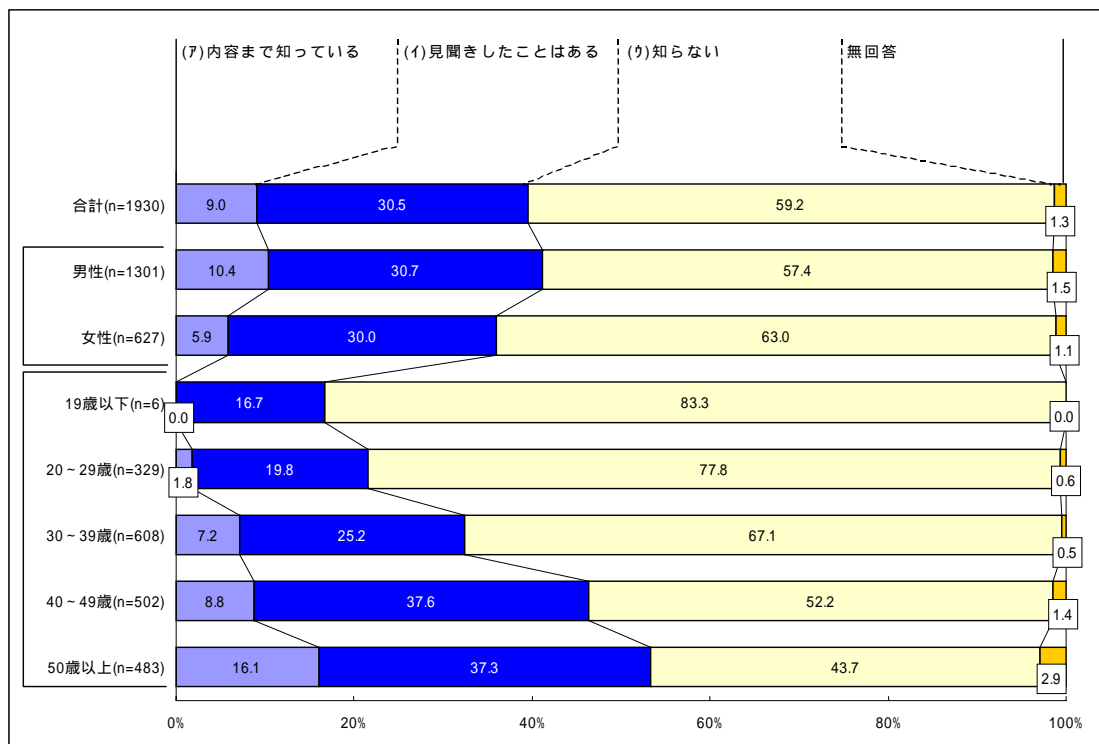
【年齢別】

「知っている」は年代があがるほど高くなる傾向が認められる。一方、「知らない」は年代がさがるほど高くなる傾向がある。40歳を境に「知らない」と「知っている」の割合が逆転している。

姫路市審議会等委員への女性の登用促進に関する指針

「知らない」59.2% > 「知っている」39.5%

「姫路市審議会等委員への女性の登用促進に関する指針」の認知度



(全体・性別・年齢別)

【全体】

「知らない」が59.2%と最も高く、「見聞きしたことはある」が30.5%で続いており、「内容まで知っている」は9.0%にとどまっている。「知らない」(59.2%)が、「知っている」(39.5%)を大きく上回っている。

【性別】

特に大きな差異は認められない。

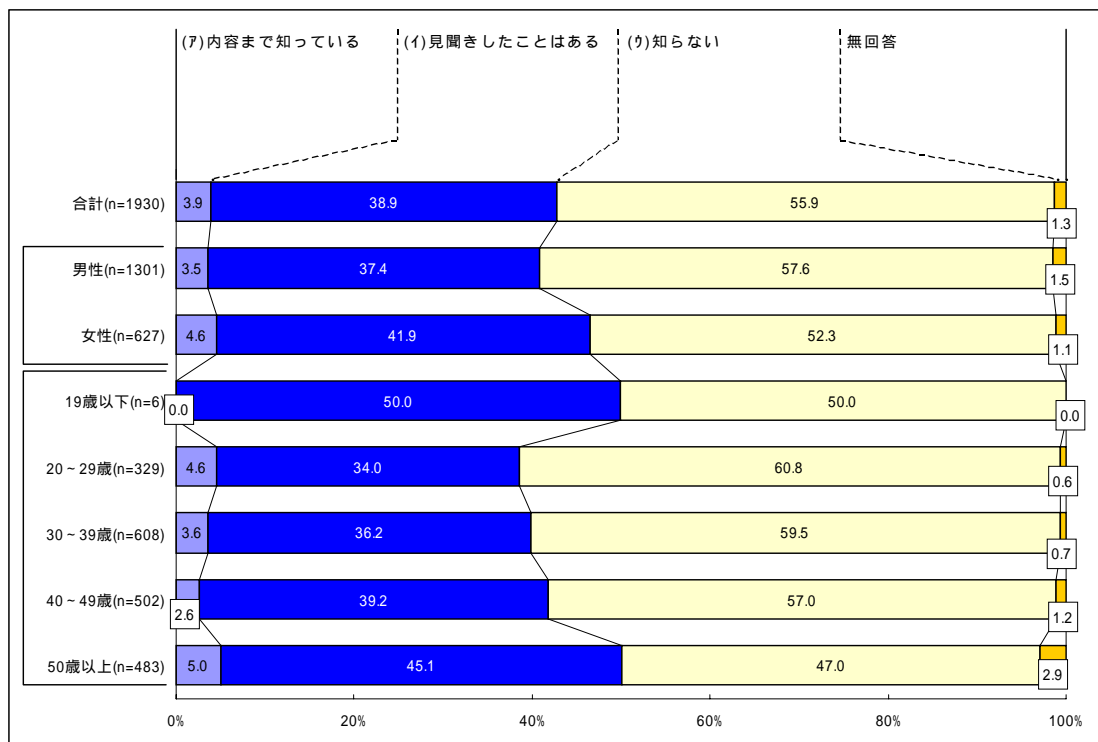
【年齢別】

「知っている」は年代があがるほど高くなる傾向が認められる。一方、「知らない」は年代がさがるほど高くなる傾向がある。また、50歳以上では、「知っている」が「知らない」を上回っている。

配偶者暴力相談支援センター

「知らない」55.9% > 『知っている』42.8%

「配偶者暴力相談支援センター」の認知度



(全体・性別・年齢別)

【全体】

「知らない」が55.9%と最も高く、「見聞きしたことはある」が38.9%で続いており、「内容まで知っている」は3.9%にとどまっている。「知らない」(55.9%)が、「知っている」(42.8%)を大きく上回っている。

なお、市民意識調査結果と比較すると、「見聞きしたことはある」が市民に比べより高い。

【性別】

特に大きな差異は認められない。

なお、市民意識調査結果と比較すると、男性、女性ともに「見聞きしたことはある」が市民に比べより高く、「知らない」がより低い。

【年齢別】

50歳以上で『知っている』が50.1%と他の年代に比べ高く、「知らない」が47.0%と他の年代に比べ低い。